

# 国道3号 博多バイパス

平成23年11月14日  
国土交通省 九州地方整備局

# 目 次

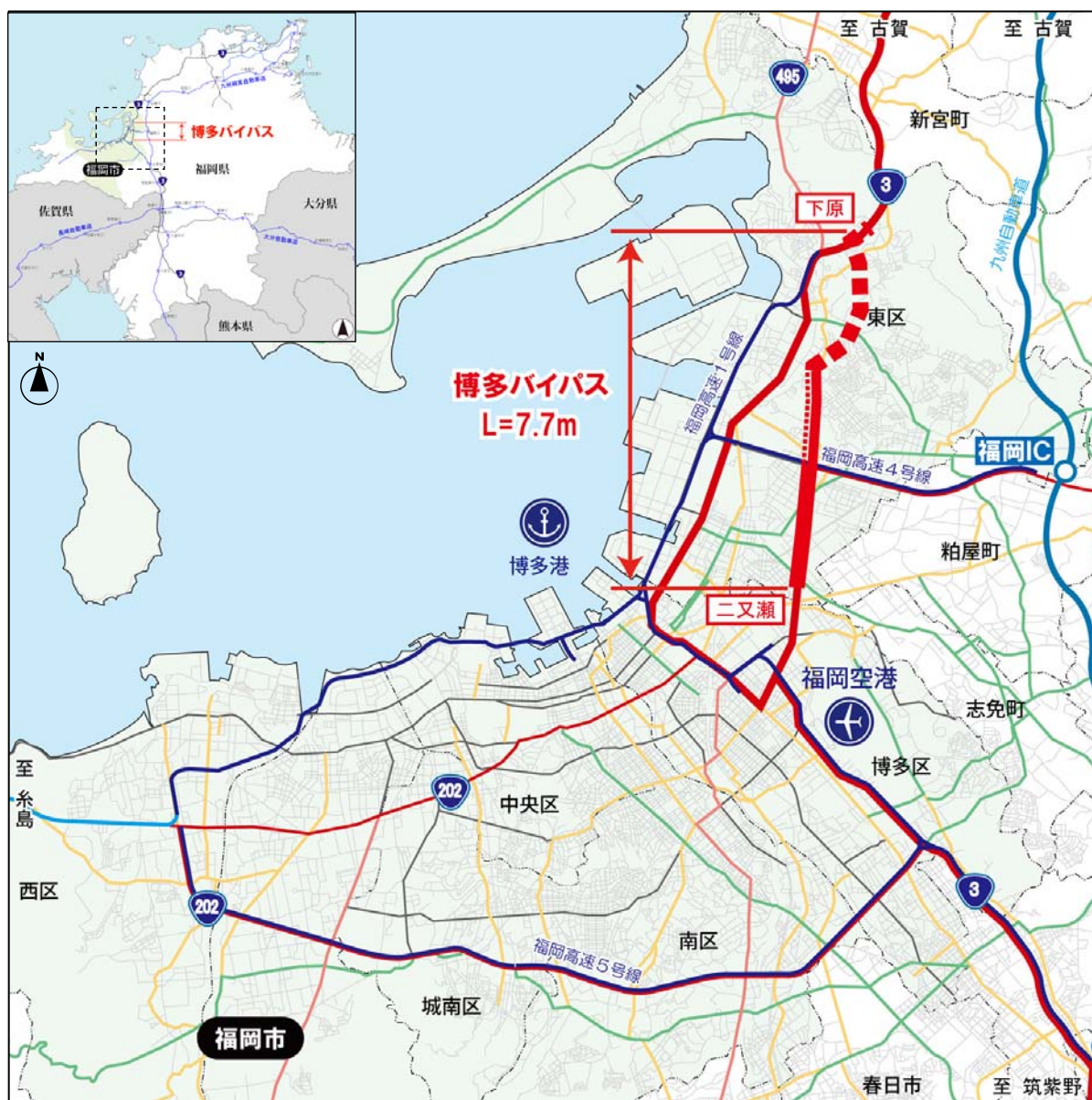
1. 事業の概要	道路-1- 1
(1) 国道3号の概要	道路-1- 1
(2) 博多バイパスの概要	道路-1- 2
2. 事業の必要性	道路-1- 3
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化	道路-1- 3
(2) 事業の効果・必要性	道路-1- 5
(3) 事業の投資効果	道路-1-12
(4) 事業の進捗状況	道路-1-13
3. 事業進捗の見込み	道路-1-15
(1) 今後の事業の見通し	道路-1-15
(2) 地域の協力体制	道路-1-15
(3) 環境・景観への取り組み状況	道路-1-16
4. 事業費の変動要因	道路-1-17
5. コスト縮減や代替案立案等	道路-1-18
6. 対応方針（原案）	道路-1-19
巻末資料	道路-1-20

# 1. 事業の概要

## (1) 国道3号の概要

国道3号は、福岡県北九州市を起点として、福岡市、熊本市等を経由し、鹿児島県鹿児島市へ至る主要な幹線道路であり、九州縦貫自動車道や国道10号と共に南北方向に九州の主要都市を結び、物流や地域間の交流を担う骨格的な路線となっている。

このうち、福岡市内においては、東区を中心とした市東部地域と市の中心部地域である中央区や博多区を連絡する重要な道路であるが、交通の集中に伴い慢性的な交通混雑が発生しており、通勤・通学・買い物等の日常生活に影響を及ぼしている。また、市東部地域には『福岡空港』、『博多港』等の九州の物流拠点ともいえる施設が立地しており、物の流れが活発な地域であるため、慢性的な交通混雑の緩和が重要である。



▲ 国道3号と博多バイパスの位置

## (2) 博多パイパスの概要

### 1) 概要

博多バイパスは、福岡市東区下原から福岡市東区二又瀬に至る延長 7.7km のバイパスであり、国道 3 号における交通混雑の緩和や交通安全の確保等に寄与する事業である。

本バイパスは、昭和 43 年度に事業化され、都市部の整備効果の高い区間から段階的に整備を進めており、平成 20 年 9 月には香椎副都心区画整理事業までの約 700m（残区間）が暫定 5 車線化されるなど、現在までに延長 7.7km のうち約 4.4km が供用している。



▲ 国道 3 号博多バイパス概要図

### 2) 計画諸元

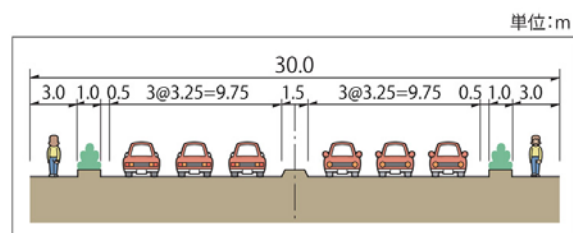
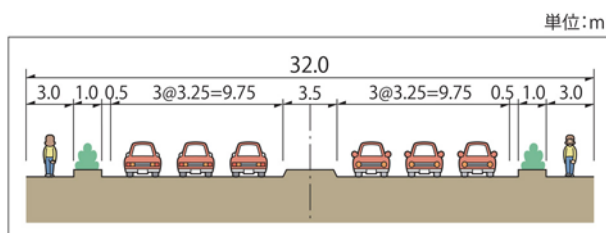
#### ▼ 計画諸元

起 点	自) 福岡市東区下原
終 点	至) 福岡市東区二又瀬
延 長	L=7.7km
幅 員	W=30.0~32.0m (6 車線)
道 路 規 格	第 4 種 第 1 級
設 計 速 度	V=60km/h
計画交通量 (H42)	①78,100 台/日 ②75,300 台/日 ③53,000 台/日

### 3) 標準断面図

○新二又瀬橋交差点～多々良中西交差点

○多々良中西交差点～東部市場前交差点

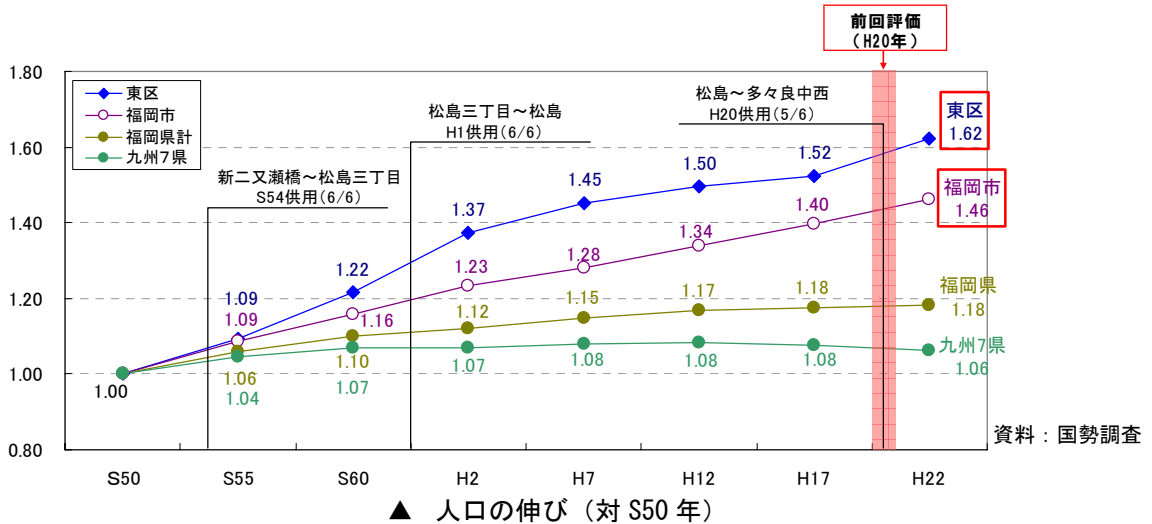


## 2. 事業の必要性

### (1) 事業を巡る社会情勢等の変化

#### 1) 人口動向

福岡市の人口は、博多バイパスが供用を開始した S54 年以降増加傾向にあり、H22/S50 年比では約 1.5 倍と福岡県や九州全体の伸びを大きく上回っている。その中でも、当該事業区間が位置する東区では更に高い伸びで推移している。前回評価 (H20) 以降も増加している。



▲ 人口の伸び (対 S50 年)

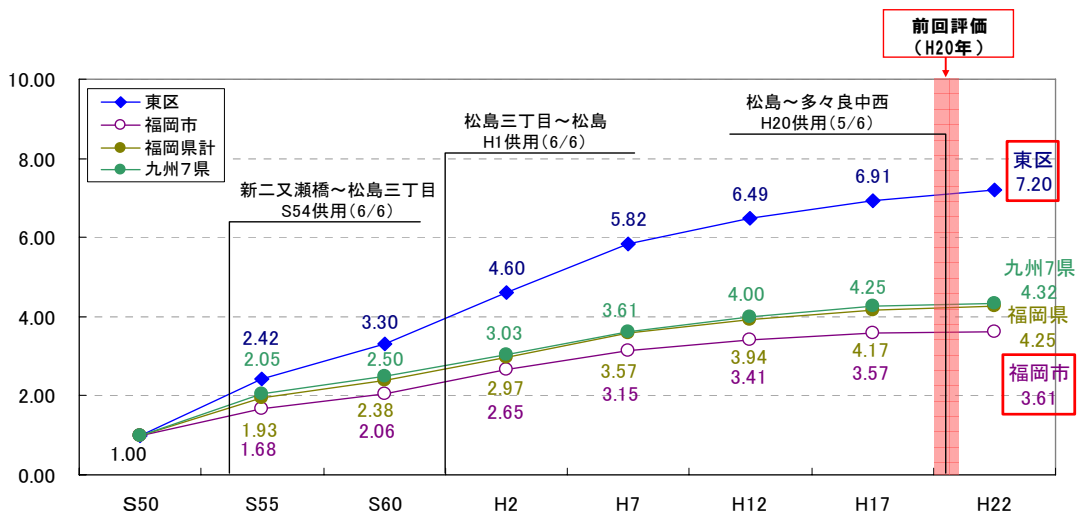
#### ▼ 人口の推移

(単位:人)

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
東区	180,109	197,197	218,961	247,356	261,541	269,307	274,481	292,287
福岡市	1,002,201	1,088,588	1,160,440	1,237,062	1,284,795	1,341,470	1,401,279	1,463,826
福岡県計	4,292,963	4,553,461	4,719,259	4,811,050	4,933,393	5,015,699	5,049,908	5,072,804
九州7県	12,417,093	12,965,049	13,276,014	13,295,859	13,423,785	13,445,561	13,352,934	13,204,474

#### 2) 自動車保有台数

福岡市全体では福岡県や九州全体に比べ低調に推移しているが、東区は H22/S50 年比で約 7 倍と自動車保有台数が大幅に増加している。前回評価 (H20) 以降も増加傾向にある。



資料：国勢調査 (S50～H17)，H22 は速報値  
市町村別自動車保有車両数，市町村別軽自動車車両数

▲ 自動車保有台数の伸び (対 S50 年)

#### ▼ 自動車保有台数の推移

(単位:台)

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
東区	19,778	47,855	65,236	91,020	115,180	128,408	136,753	142,395
福岡市	185,253	310,389	382,224	490,893	584,373	631,611	661,658	669,567
福岡県計	718,431	1,386,579	1,709,437	2,130,844	2,564,259	2,831,214	2,995,542	3,052,906
九州7県	2,043,986	4,180,281	5,105,496	6,185,927	7,372,219	8,184,782	8,693,505	8,835,862

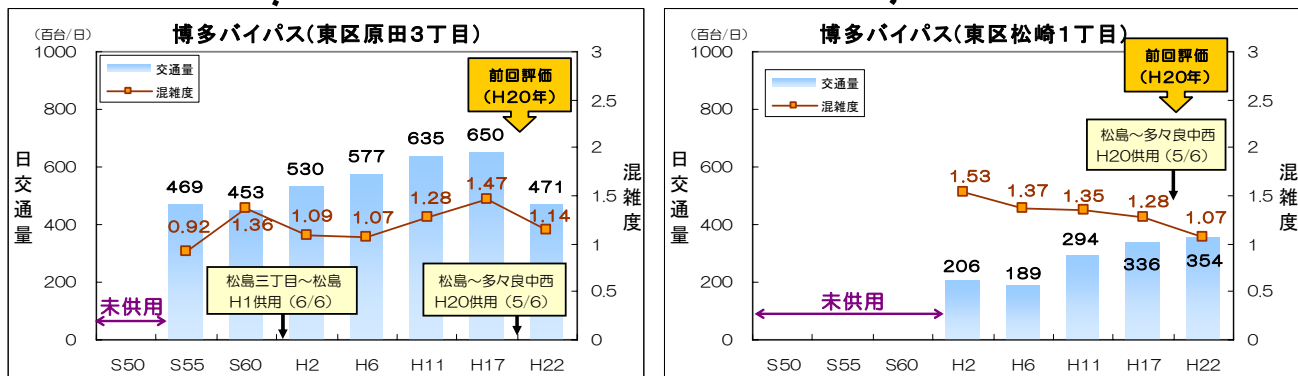
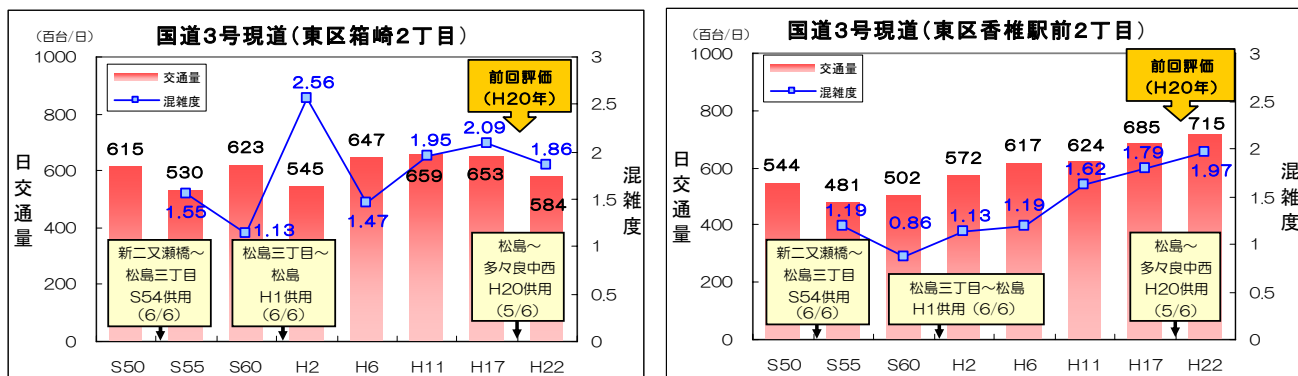
※ 昭和 50 年の数値には軽自動車が含まれていない。

### 3) 交通動向

博多バイパス既供用区間と並行する国道3号（箱崎2丁目）では、博多バイパスの段階的な供用に伴い、交通の増減を繰り返していたが、H11年を境に交通量は減少に転じている。しかし、H22年時点の混雑度は1.86と依然として慢性的な交通混雑が発生している。

一方、博多バイパスが未整備区間と並行する国道3号（香椎駅前2丁目）では、依然として増加傾向にあり、H22年時点では利用交通量が7万台/日超と極めて多い。

両地点では、前回評価（H20）以降も同傾向にあり、箱崎2丁目では減少、香椎駅前2丁目では増加傾向が続いている。



資料：道路交通センサス

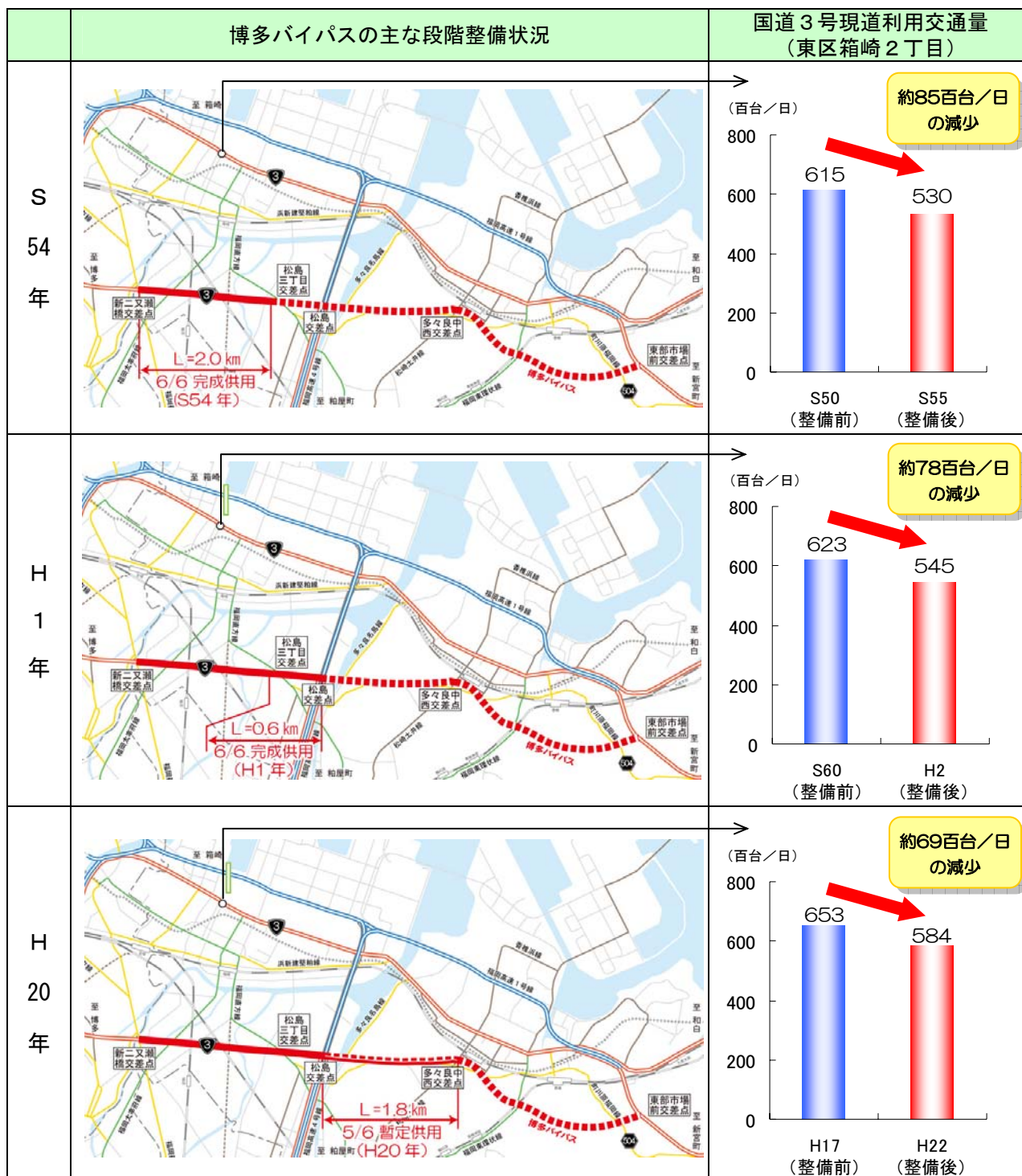
#### ▲ 地点別交通量及び混雑度の推移

(2) 事業の効果・必要性

**効果1：交通混雑の緩和（既に発現した効果）**

・博多バイパスはこれまで計画的な整備が進められており、主要な幹線道路とのネットワーク化が図られた各段階で並行する国道3号現道の交通負荷を約70～90 百台/日軽減している。

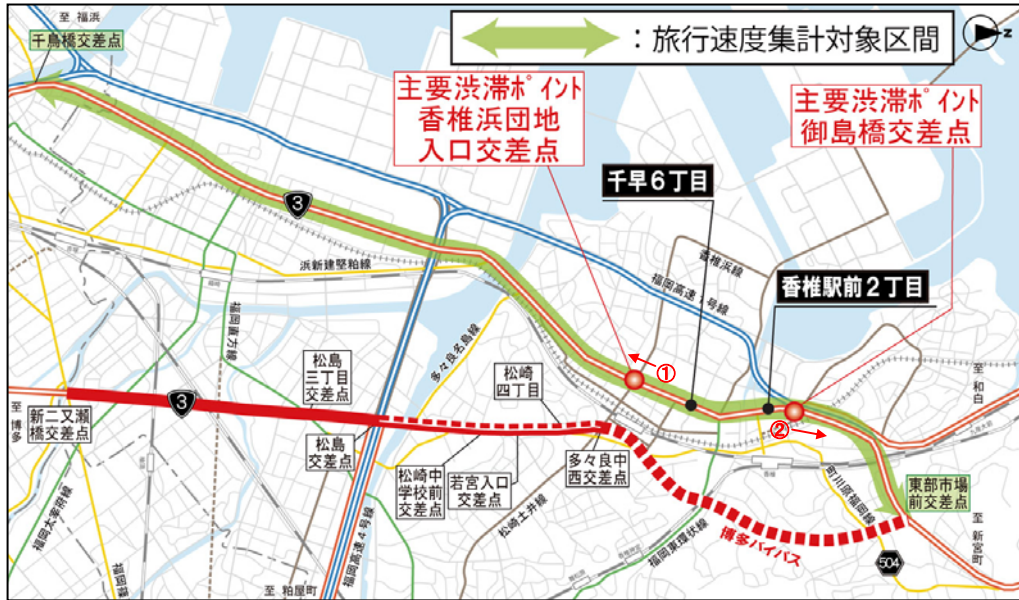
▼ 博多バイパスの段階整備における国道3号現道利用交通量の変化



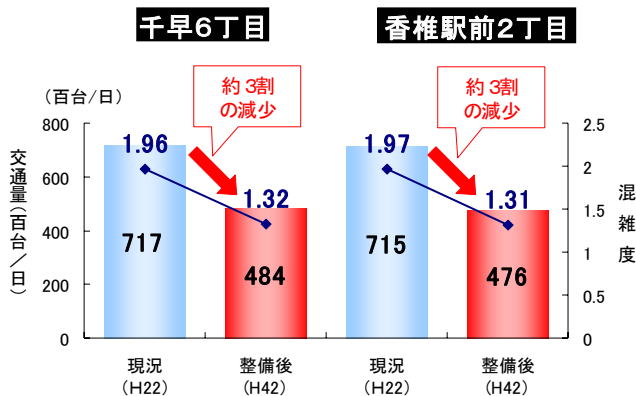
資料：道路交通センサス

# 効果1：交通混雑の緩和（今後期待される効果）

- 博多バイパスの整備により、国道3号現道の交通混雑が緩和し、旅行速度の向上が図られる。

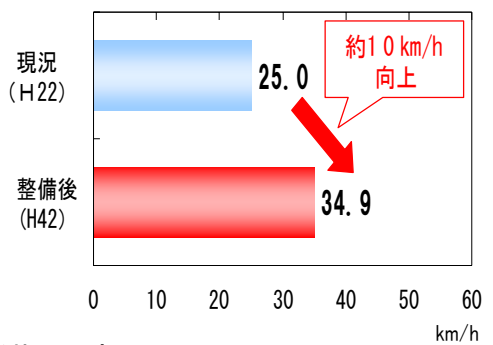


## 【日交通量の変化】



## 【旅行速度の変化】

対象区間：千鳥橋交差点～東部市場前交差点



▲ 国道3号現道における交通状況の変化

資料：〈現況〉H22道路交通センサス  
〈整備後〉H42交通量推計結果

## 効果2：交通安全の確保（今後期待される効果）

- ・香椎駅東地区では、通過交通が区内生活道路に進入しており、通学児童等の歩行者の安全性確保が懸念される。
- ・博多バイパスの整備に伴い、通過交通の排除等、地域生活環境の向上が期待される。



資料：福岡東警察署、各小学校提供資料  
H23年7月交通実態調査結果

### ▲ 香椎駅東地区の交通危険箇所

#### 市道香椎 1041 号線



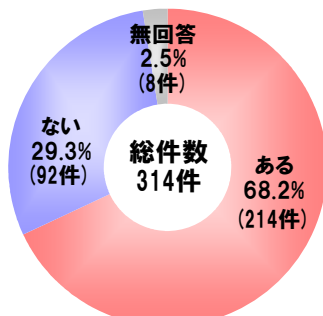
#### 市道香椎 1041 号線



#### 県道 町川原福岡線



### ▲ 香椎駅東地区内生活道路の交通状況



### ▲ 通学路の危険箇所の有無

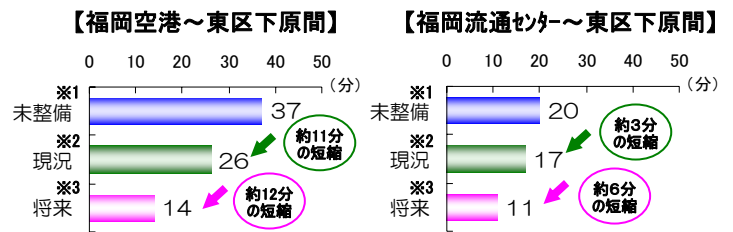
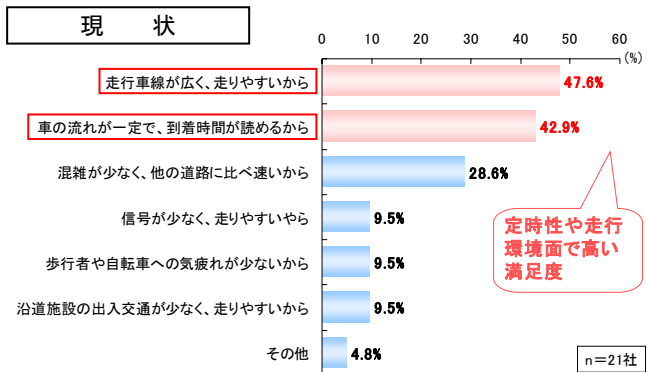
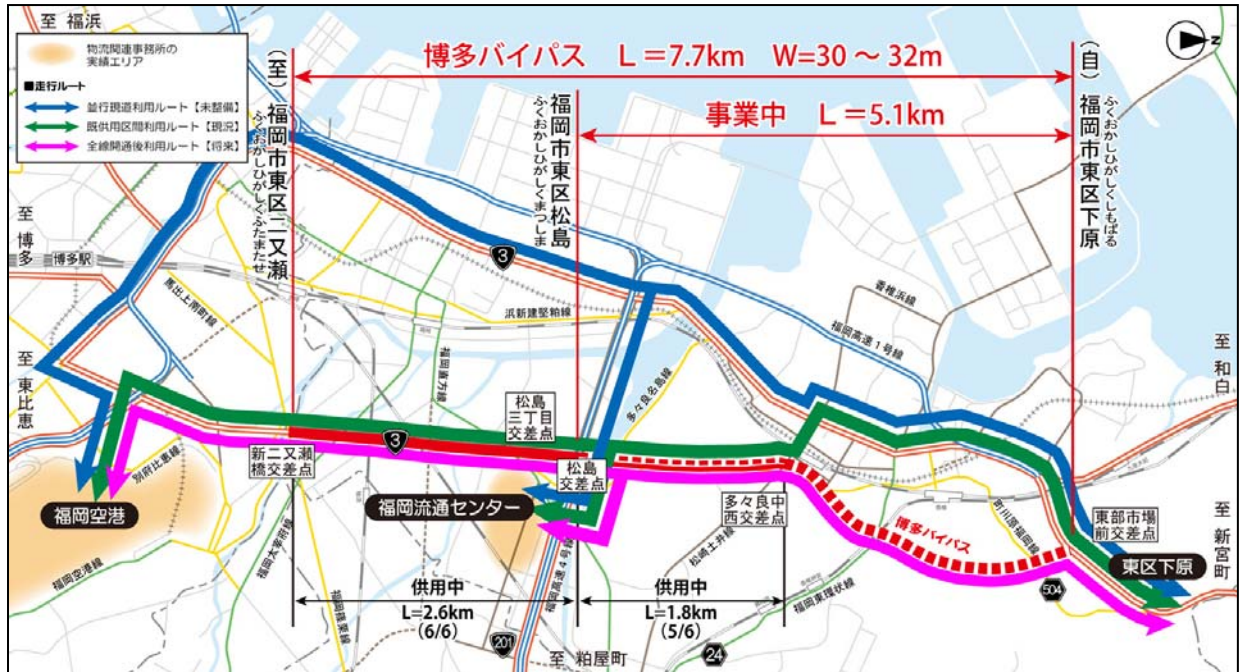
資料：香椎下原小学校父母、教師会地区懇談会報告書

### ■ 博多バイパス整備に対する期待

- 博多バイパスが整備されると、香椎三中の前を通過する車両が減少し、通学路の安全性が高まると思う。
- 博多バイパスの歩道を通学路として活用できれば、登下校時の安全性や利便性が向上すると思う。
- 早く博多バイパスを整備してほしい。  
(香椎駅東地区における学校関係者の声)

### 効果3：物流の支援

- 博多バイパス沿線には、福岡空港や福岡流通センターなどの物流拠点が集積しており、現状で博多バイパスを利用している物流企業は定時性や走行環境面での満足度が高い。
- 今後、博多バイパスが全線供用することに伴い、走行環境や速達性の向上が図られることで、更なる物流支援に資することが期待される。



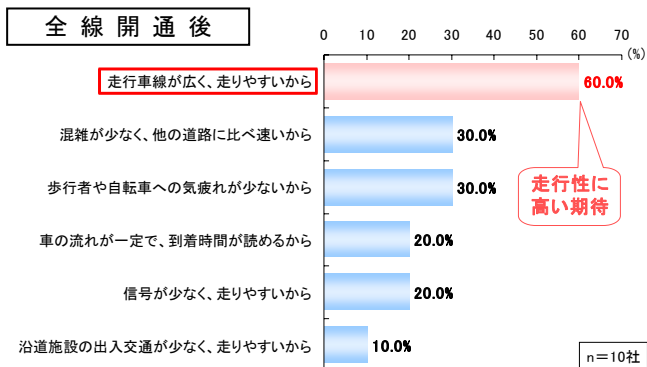
#### ▲ 物流拠点への所要時間の変化

- ※1：並行現道利用ルート
- ※2：既供用区間利用ルート
- ※3：全線整備後利用ルート

資料：〈未整備・現況〉道路交通センサス 〈将来〉交通量推計結果

#### ▲ 香椎地区を走行する物流で博多バイパスを利用している理由【現状】

資料：物流企業アンケート調査



#### ▲ 全線供用に伴い、他道路利用から博多バイパス利用へ転換する理由【全線開通後】

資料：物流企業アンケート調査

#### 物流企業の声(全線開通に対する期待)

- 物流上、利用する経路の選択肢が増え、香椎地区の街中通過を回避できるため、定時性の向上が期待でき、計画的な運行が可能となることに期待している。
- 渋滞区間を回避することで輸送効率の向上が図られ、物流コスト（時間的なロスや人件費等）が削減できる。
- 輸送時間の短縮に伴い、輸送頻度や配送先の増加（＝企業収益の増加）に繋がることを期待している。

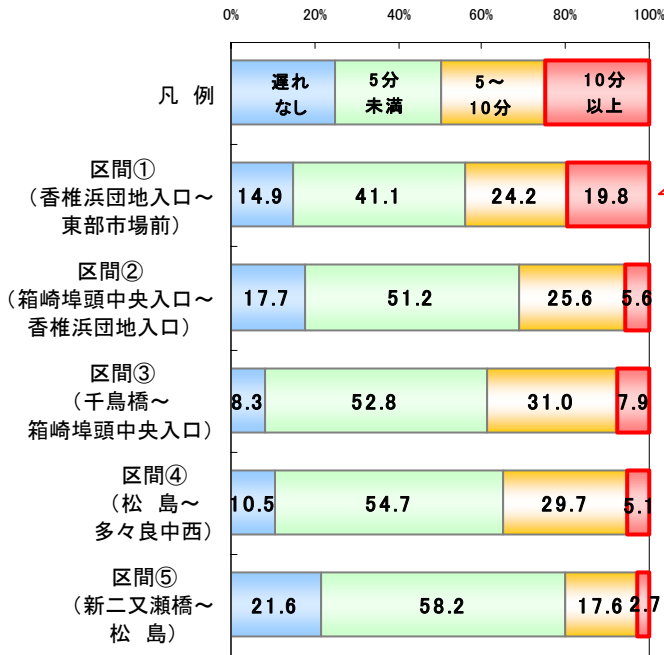
資料：物流企業アンケート調査

## 効果4：公共交通の支援

- 博多バイパス、及び博多バイパスと並行している国道3号を運行している路線バスが10分以上遅れる割合は3～8%程度であるのに対し、博多バイパスが整備されていない国道3号（区間①：香椎浜団地入口～東部市場前）では10分以上遅れる割合が約20%と高く、定時性が低い状況にある。
- 博多バイパスの整備により、既供用区間と同程度まで定時性向上が図られることが期待される。



▲ バス停到着遅れ時間集計対象区間位置図



博多バイパス未整備並行現道（区間①）では、10分以上の到着遅れが約2割と多い。



▲ バス停におけるバス待ち状況

▲ バス停到着遅れ時間\*の割合

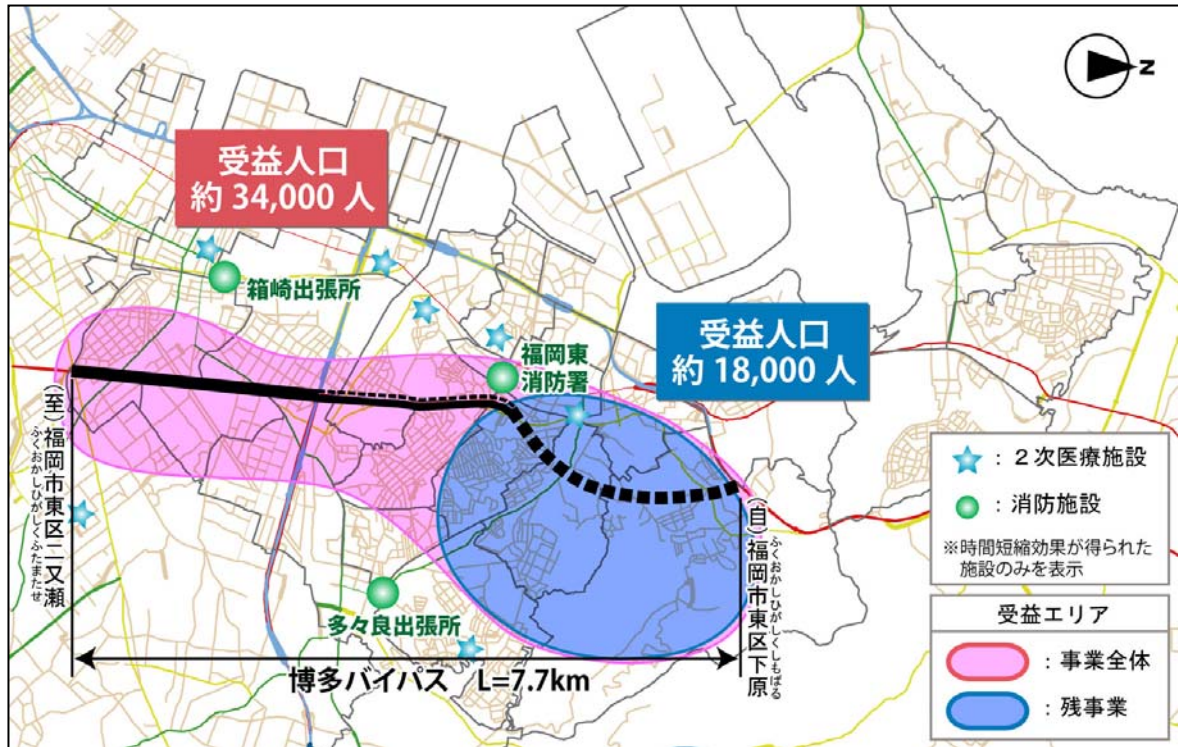
※バス停到着遅れ時間

: H22年度のバス運行記録を基に、定刻に対する到着時刻の遅れ時間を集計

資料：西日本鉄道(株)提供資料

## 効果5：救急医療活動の支援

- 博多バイパスの整備により、事業全体では約 34,000 人、残事業では約 18,000 人が居住している地区の救急搬送時間が短縮され、住民生活の安全・安心の向上が期待される。
- また、福岡市東区下原地区から第二次医療施設である福岡輝栄会病院までの到着時間が約 1 分短縮することにより、呼吸停止時の救命率は約 11%向上する。



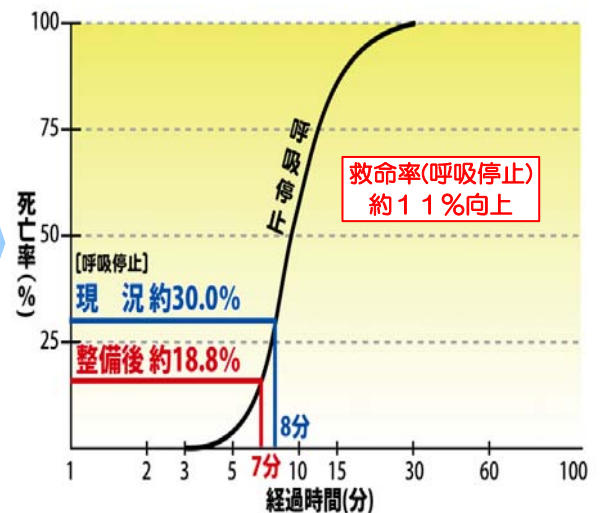
※受益エリアは、対象路線の整備により「消防署から現場」、もしくは「現場から高次医療施設」までの所要時間が1分以上短縮する地区を設定。

▲救急搬送時間の短縮による受益エリアと受益人口



▲ 救急医療施設への所要時間の変化

資料：H42 将来交通量推計結果



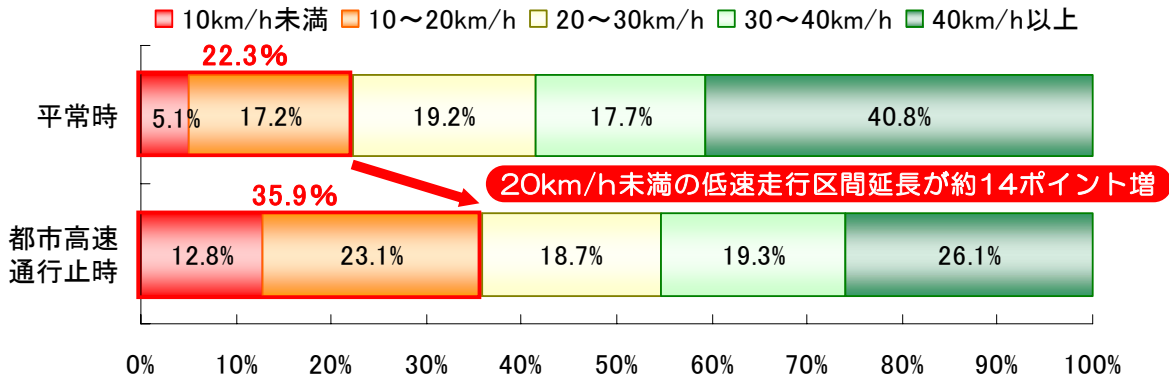
▲ 所要時間短縮による救命率向上効果

博多バイパスの供用による搬送時間の短縮により救われる人命価値（救急医療へのアクセス向上効果）の便益は、事業全体で※約 1,088 億円、残事業で※約 158 億円と試算される。

(※)は供用後 50 年間の便益額として試算した値（参考値）

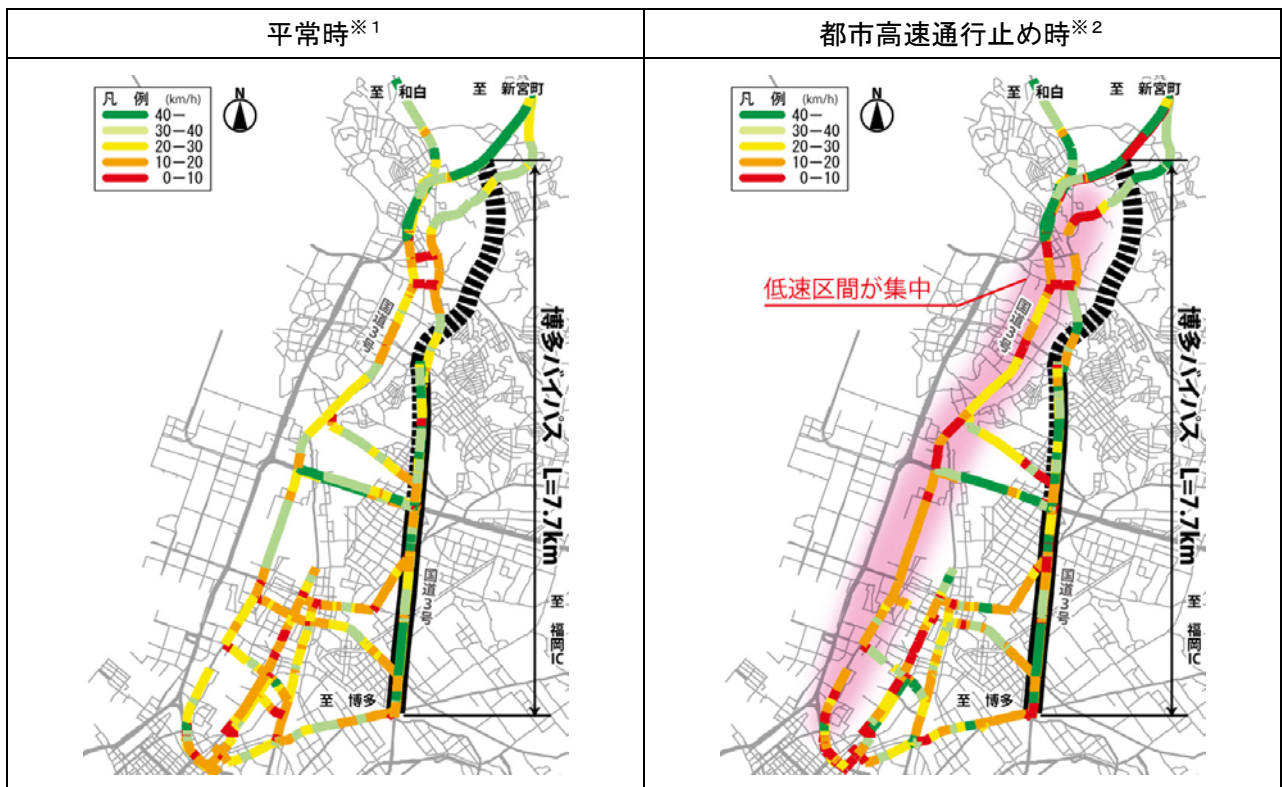
## 効果6：高速ネットワークの代替機能の確保

- ・都市高速道路通行止めの影響は広範囲に及んでおり、通行止め時には平常時に比べ20km/h未満の低速度走行区間が約10ポイント以上も増加している。
- ・博多バイパスの整備により通行止め時などにおける代替路として走行環境の改善が図られることが期待される。



▲ 速度ランク別延長比

注) 概ね福岡市東部（中央区、博多区、東区）、新宮町、粕屋町を対象に集計



▲ 平常時と都市高速通行止め時の走行速度ランクの比較

※1：民間プローブデータを基にH22年1月平日平均速度（上下方向別最小速度）を集計

※2：民間プローブデータを基にH22年1月13日（都市高速全線通行止め時）の1日平均速度（上下方向別最小速度）を集計

※3：集計対象時間帯は「平常時」、「都市高速通行止め時」とも7:00～19:00を対象

通行止めの状況（原因：積雪のため）

- ・福岡都市高速道路全線 通行止時刻：3：50～14：40（10時間50分）
- ・福岡都市高速4号線 通行止時刻：17：01～19：00（1時間59分）

### (3) 事業の投資効果

#### ①事業の目的

博多バイパスは、国道3号における交通混雑の緩和や交通安全の確保等に寄与することを目的としている。

#### ②費用便益効果分析結果【残事業】

##### 1) 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成 23 年度			
供用年	平成 30 年度			
初年便益	42 億円	1.9 億円	0.54 億円	45 億円
基準年における 現在価値 (B)	666 億円	31 億円	8.5 億円	705 億円

##### 2) 費用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	平成 23 年度		
単純合計	60 億円	44 億円	104 億円
基準年における 現在価値 (C)	52 億円	15 億円	67 億円

##### 3) 評価指標の算定結果

費用便益比 (C/B)	B/C=10.5
-------------	----------

※費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

#### ③費用便益効果分析結果【全事業】

##### 1) 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成 23 年度			
供用年	昭和 54 年度			
初年便益	32 億円	9.5 億円	4.2 億円	46 億円
基準年における 現在価値 (B)	4,737 億円	737 億円	218 億円	5,693 億円

##### 2) 費用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	平成 23 年度		
単純合計	452 億円	54 億円	506 億円
基準年における 現在価値 (C)	911 億円	63 億円	975 億円

##### 3) 評価指標の算定結果

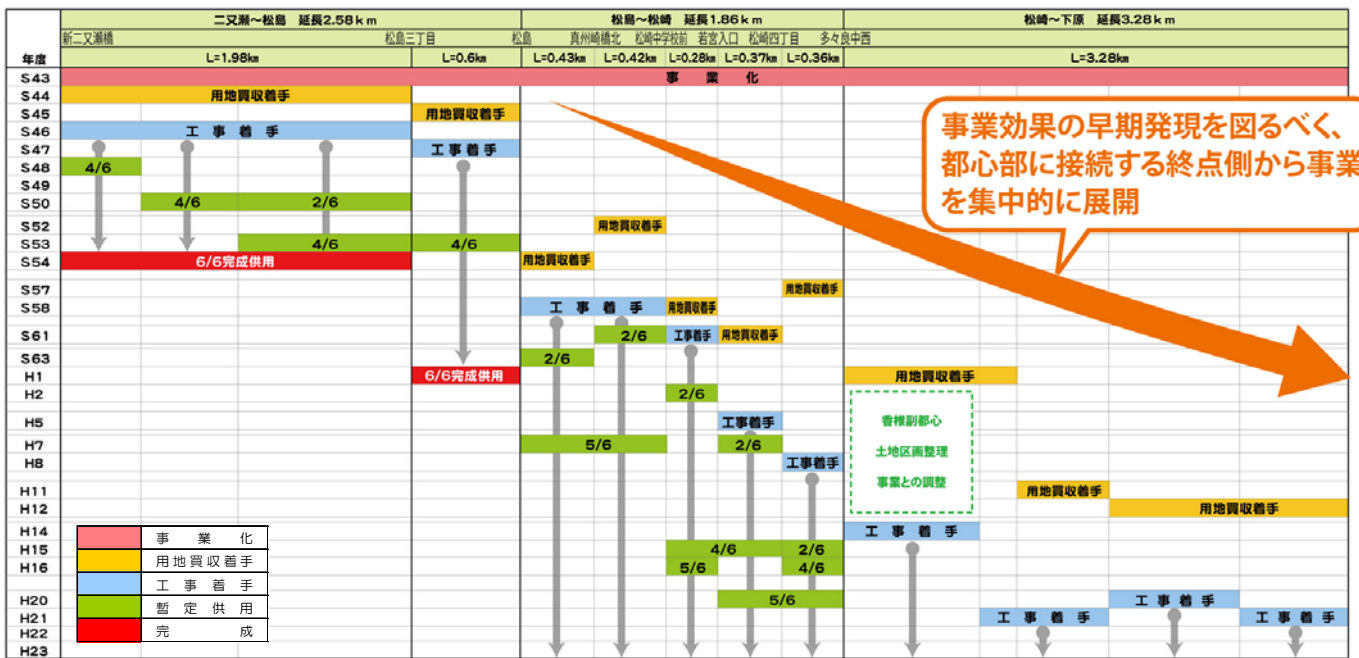
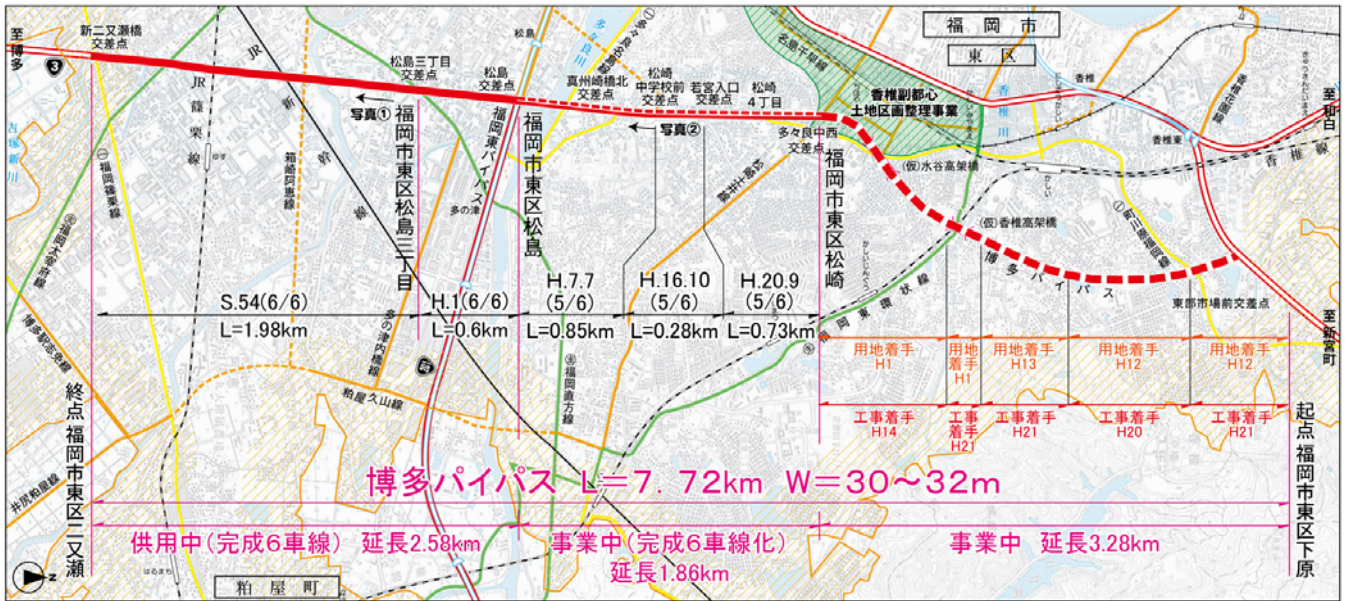
費用便益比 (C/B)	B/C=5.8
-------------	---------

※費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

#### (4) 事業の進捗状況

##### ① 事業の経緯

県都である福岡市の中心部に接続する終点部から段階的に整備を進めており、現在までに延長7.7kmのうち約4.4kmが供用済みとなっている。



▲ 写真①：松島三丁目付近



▲ 写真②：松崎中学校前付近

②事業の進捗状況

項目	全体事業費	H22 年度末進捗	進捗率
事業費	約 462 億円	約 392 億円	約 85%
うち用地補償費	約 233 億円	約 221 億円	約 95%

③前回の評価時との比較

項目		前回評価 (H20 年度)	今回評価 (H23 年度)
延長		7.7km	7.7km
計画交通量		43,900~76,500 台/日	47,300~78,100 台/日
事業費 (現在価値化後)		約 449 億円 (約 852 億円)	約 462 億円 (約 911 億円)
B/C	残事業	5.2 = $\left[ \frac{484 \text{ 億円}}{93 \text{ 億円}} \right]$	10.5 = $\left[ \frac{705 \text{ 億円}}{67 \text{ 億円}} \right]$
	全事業	5.8 = $\left[ \frac{5,098 \text{ 億円}}{879 \text{ 億円}} \right]$	5.8 = $\left[ \frac{5,693 \text{ 億円}}{975 \text{ 億円}} \right]$

④事業費増額の理由

項目	前回評価 (H20 年度)	今回評価 (H23 年度)	変更内容	理由
事業費	約 449 億円	約 462 億円	+約 13 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遮音壁の追加 【約+ 4 億円】</li> <li>・ 擁壁構造から橋梁形式へ変更 【約+ 7 億円】</li> <li>・ 横断歩道橋の追加 【約+ 2 億円】</li> <li>・ コスト縮減 【約-0.3 億円】</li> </ul>

### 3. 事業進捗の見込み

#### (1) 今後の事業の見通し

博多バイパスの平成22年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約85%であり、そのうち用地進捗率は約95%に達している。

今後も事業効果を早期発現できるよう、引き続き関係機関と調整を図りながら博多バイパスの全線供用へ向け、整備を推進していく。

#### (2) 地域の協力体制

事業推進にあたっては、地元や関係機関との協力体制も確立しており、円滑な事業執行が可能である。

##### ▼ 地域の協力体制（期成会・協議会）

名 称	構 成	活 動 内 容
福岡都市圏広域行政推進協議会 会長：福岡市長	<b>【福岡都市圏17市町】</b> ○福岡市 ○筑紫地域 筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川町 ○粕屋地域 古賀市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町 ○宗像地域 宗像市、福津市 ○糸島市	・博多バイパスの整備促進について、機会あるごとに国及び関係機関に対して積極的な要望活動を実施。  平成19年度 7月19日：本省要望 8月 1日：地整要望 11月19日：地整要望 平成20年度 7月24日：本省要望 8月11日：地整要望 平成21年度 7月 8日：本省要望 8月 4日：地整要望 平成22年度 8月 5日：本省要望 8月31日：地整要望 平成23年度 8月30日：本省要望

#### ○協力体制

名 称	協力内容
福岡市道路下水道局 計画部 広域道路対策課	・地元説明会等の住民との連絡調整 ・市役所内部等への調整窓口

### (3) 環境・景観への取り組み状況

#### ○地域のシンボル「香椎参道クスノキ」との共生

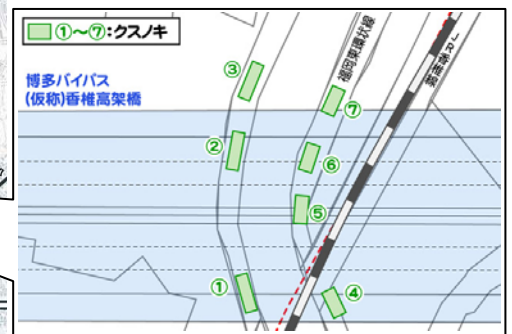
当該事業では、福岡東環状線とJR香椎線を(仮称)香椎高架橋が跨ぐ計画であるが、高架下の福岡東環状線沿線には地域のシンボルとして親しまれているクスノキ並木(香椎参道)が続いている。

このクスノキは樹高10m以上に伸長し、高架橋の計画に支障をきたすことから、移植を含めた対応を検討した結果、現地に残して育成するものとし、以下について引き続き検討を行っているところである。

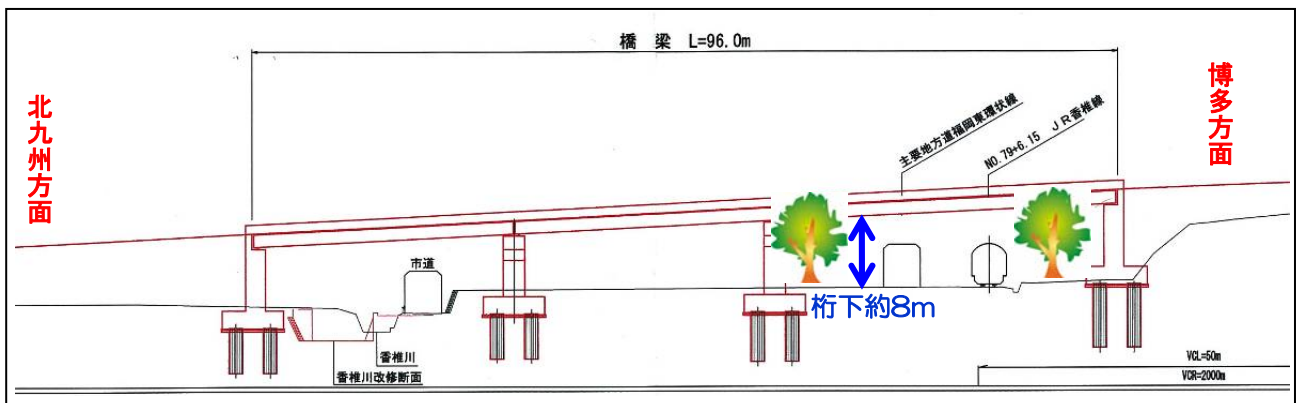
- ・ 類似特性箇所の調査による必要照度や水量の確保可能性
- ・ 高架下空間に収めるための、段階的な切り込みや整形による樹形の収縮
- ・ 健全に育成させるための管理計画の立案・実行



▲ (仮称)香椎高架橋計画位置図



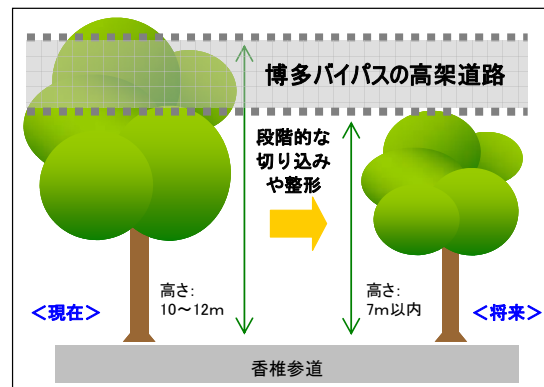
▲ 計画平面図



▲ (仮称)香椎高架橋の計画縦断面図



▲ クスノキ並木 (福岡東環状線)



▲ 切り込み・整形のイメージ

## 4. 事業費の変動要因

○事業費の見直し（主なもの：擁壁構造から橋梁形式へ変更 約7億円の増額）

石坂地区は擁壁構造とし、市道の付け替えを当初、ボックスカルバートで計画していたが、その後、市道相互の取付改良計画が公安委員会や地元との間でまとまった事をうけて、関係機関と協議した結果、視認性が高く、防犯上も優位な橋梁形式へ変更することとした。

	当初計画	変更計画【現計画】
平面図		
視点①		
視点②		
視点③		

## 5. コスト縮減や代替案立案等

### (1) コスト縮減の対応

事業実施にあたっては、新工法の活用などにより、着実なコスト縮減を図るとともに、早期供用による事業執行の時間的コストの低減に向け計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。

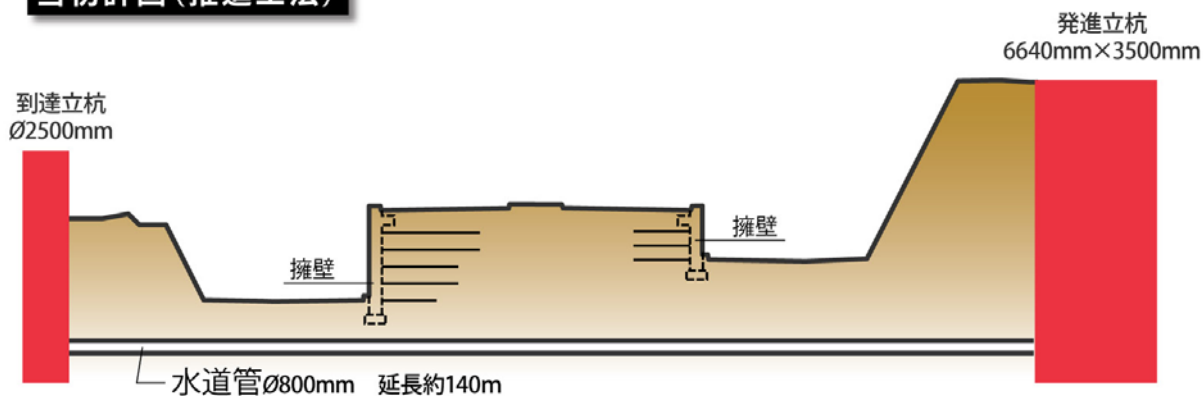
#### 【 具体的な取り組み状況 】

※松香台地区における支障物件（水道管）の移設工法の変更

当初：先行的に擁壁を施工後、推進工法による移設を予定

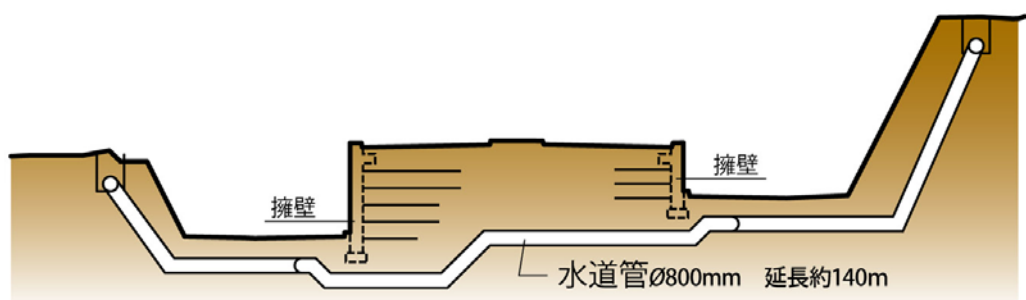
変更：道路本体の施工前に水道管の施工が可能となったため、開削工法へ見直しを行った結果、**約3,000万円のコスト縮減**

#### 当初計画（推進工法）



発進・到達立杭等が不要となり  
約**3,000**万円のコスト縮減

#### 変更計画（開削工法）



## (2) 代替案立案

博多バイパスは、現在までに7.7kmのうち、4.4km区間が供用している。残区間にあたる国道3号香椎浜団地入口～下原間は、沿道に家屋や店舗、学校等が立地しており、また沿線開発計画等との整合性から、現道拡幅ではなく別線（バイパス）としての整備が適当である。

## 6. 対応方針（原案）

### 【事業継続】

博多バイパスの並行現道区間では、著しい交通混雑が発生しているが、バイパス整備による交通混雑の緩和により、旅行速度の向上、定時性の確保が図られるなど円滑な交通が確保される。費用対効果も十分高い事業である。

事業進捗率は、事業費ベースで約85%[約392億円/約462億円](平成22年度末)であり、そのうち用地進捗率は約95%[約221億円/約233億円]となっており、今後の円滑な事業執行が可能である。

よって、当該事業の完成供用に向けて、事業を継続することとしたい。

## 【卷末資料】

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道3号 博多バイパス
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チェックの根拠
前提条件	<p>事業の効率性</p> <p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>全事業：費用便益比 (B/C) = 5.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 4,718億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 23%)</p> <p>残事業：費用便益比 (B/C) = 10.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 638億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 32%)</p>

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	<p>円滑なモビリティの確保</p> <p>● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率</p> <p>■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p>□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p>■ 新幹線等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p>■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上</p> <p>□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</p>	<p>区間(並行区間)について：(一般国道3号)</p> <p>並行区間の損失時間：180万人・時間/年 (一般国道3号 箱崎ふ頭中央入口交差点～御島橋交差点)</p> <p>並行区間の損失削減率：約2割削減 (一般国道3号 箱崎ふ頭中央入口交差点～御島橋交差点)</p> <p>国道3号 東区香椎駅前2丁目～箱崎7丁目 旅行速度約19km/h⇒約32km/h</p> <p>国道3号、(県) 町川原福岡線 (西鉄バス)</p> <p>東区下原～博多駅 35分⇒19分 (約16分短縮)</p> <p>東区下原～福岡空港 26分⇒14分 (約12分短縮)</p> <p>東区下原～博多港 (箱崎ふ頭入口) 14分⇒11分 (約3分短縮)</p>
物流効率化の指標		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である <input checked="" type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する <input checked="" type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区画が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短时间内で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新設整備の公共公益施設へ連絡する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区画が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区画及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	<p>「福岡市道路整備アクションプラン2011」において、交流・物流拠点としての道づくりを支える主要放射環状道路として位置付けられている。</p> <p>博多ハイバス沿線の香椎地区では、「香椎副都心土地区画整理事業」が進められている。</p>
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 三次医療施設(九州大学病院)へのアクセス向上。福岡市東区下原地区～九州大学病院の所要時間：20分⇒15分(5分短縮)	
2. 暮らし	歩行者・自転車、のたための生活空間の形成 無電柱化による美しい町並みの形成 安全で安心できる		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される <input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
	災害への備え	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす
	4. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される
	5. その他	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> CO2排出削減量：26,968t/年（未整備）70,219t/年 ⇒ 整備後 43,251t/年（） <input checked="" type="checkbox"/> 整備対象区間（現道/平行区間等）：（区間名）一般国道3号（東区下原～博多区千代5丁目） 排出削減量：99t/年、排出削減率：約4割削減 <input checked="" type="checkbox"/> 整備対象区間（現道/平行区間等）：（区間名）一般国道3号（東区下原～博多区千代5丁目） 排出削減量：9.3t/年、排出削減率：約4割削減
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 博多バイパスの整備は、「福岡市道路整備アクションプラン2011」において位置づけられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 博多バイパスは、「福岡県新洪滞対策計画（H17.7）」において、福岡都市圏における体系的なネットワーク整備を支える施策として位置づけられている。

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道3号	博多バイパス	7.7km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
47,300~78,100	6	九州地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	452億円	54億円	506億円
うち残事業分	60億円	44億円	104億円
基準年における 現在価値 (C)	911億円	63億円	975億円
うち残事業分	52億円	15億円	67億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	昭和54年度			
単年便益 (初年便益)	32億円	9.5億円	4.2億円	46億円
基準年における 現在価値 (B)	4,737億円	737億円	218億円	5,693億円
うち残事業分	666億円	31億円	8.5億円	705億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	5.8
経済的純現在価値（事業全体）	4,718億円
経済的内部収益率（事業全体）	23%
費用便益比（残事業）	10.5
経済的純現在価値（残事業）	638億円
経済的内部収益率（残事業）	32%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	47,300～75,400	±10%	9.4 ～ 11.6
事業費	60億円	±10%	9.7 ～ 11.4
事業期間	6年	±20%	9.6 ～ 11.0

交通状況の変化

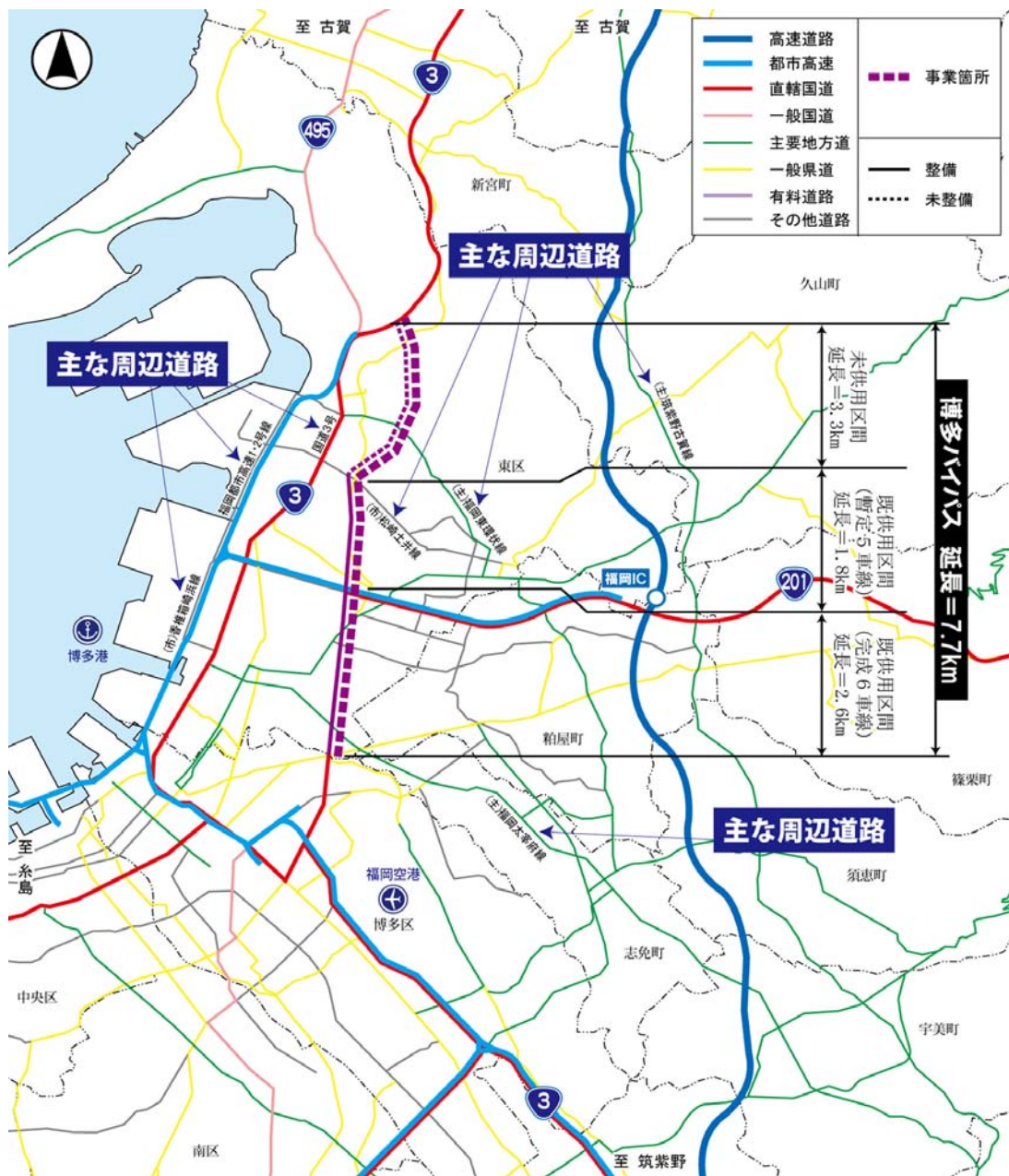
様式-3①

事業名：国道3号 博多バイパス

(推計時点 H17年) (事業全体)

			整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 博多バイパス 【未供用区間】 : 3.3km	交通量	[台/日]	0.00	0.00		
	走行時間	[分]	0.00	0.00		
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00		
①新設・改築道路 博多バイパス 【既供用区間】 (暫定5車線) : 1.8km	交通量	[台/日]	0.00	35,700		
	走行時間	[分]	0.00	3.7		
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	23		
①新設・改築道路 博多バイパス 【既供用区間】 (完成6車線) : 2.6km	交通量	[台/日]	0.00	73,200		
	走行時間	[分]	0.00	4.6		
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	60		
②主な周辺道路	現道(国道3号) : 8.8km	交通量	[台/日]	73,600	61,600	
		走行時間	[分]	16	15	
		走行時間費用	[億円/年]	208	172	
	(主)福岡太宰府線 : 2.1km	交通量	[台/日]	23,300	16,700	
		走行時間	[分]	8.6	5.0	
		走行時間費用	[億円/年]	37	16	
	(市)香椎箱崎浜線 : 6.3km	交通量	[台/日]	43,500	34,800	
		走行時間	[分]	9.8	9.5	
		走行時間費用	[億円/年]	74	58	
	福岡都市高速1・2号線 : 13.7km	交通量	[台/日]	61,800	51,500	
		走行時間	[分]	14	14	
		走行時間費用	[億円/年]	156	131	
	(主)福岡東環状線 : 9.2km	交通量	[台/日]	19,800	17,400	
		走行時間	[分]	32	30	
		走行時間費用	[億円/年]	123	102	
	(市)松崎土井線 : 2.5km	交通量	[台/日]	12,100	11,300	
		走行時間	[分]	7.2	5.3	
		走行時間費用	[億円/年]	15	10	
	(主)筑紫野古賀線 : 19.5km	交通量	[台/日]	27,800	26,000	
		走行時間	[分]	38	37	
		走行時間費用	[億円/年]	186	167	
	③その他道路合計: 2,679.9km	走行時間費用	[億円/年]	13,652	13,625	
				走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
	合計: 2,749.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	14,452	14,365	87

事業名：国道3号 博多バイパス（事業全体）



交通状況の変化

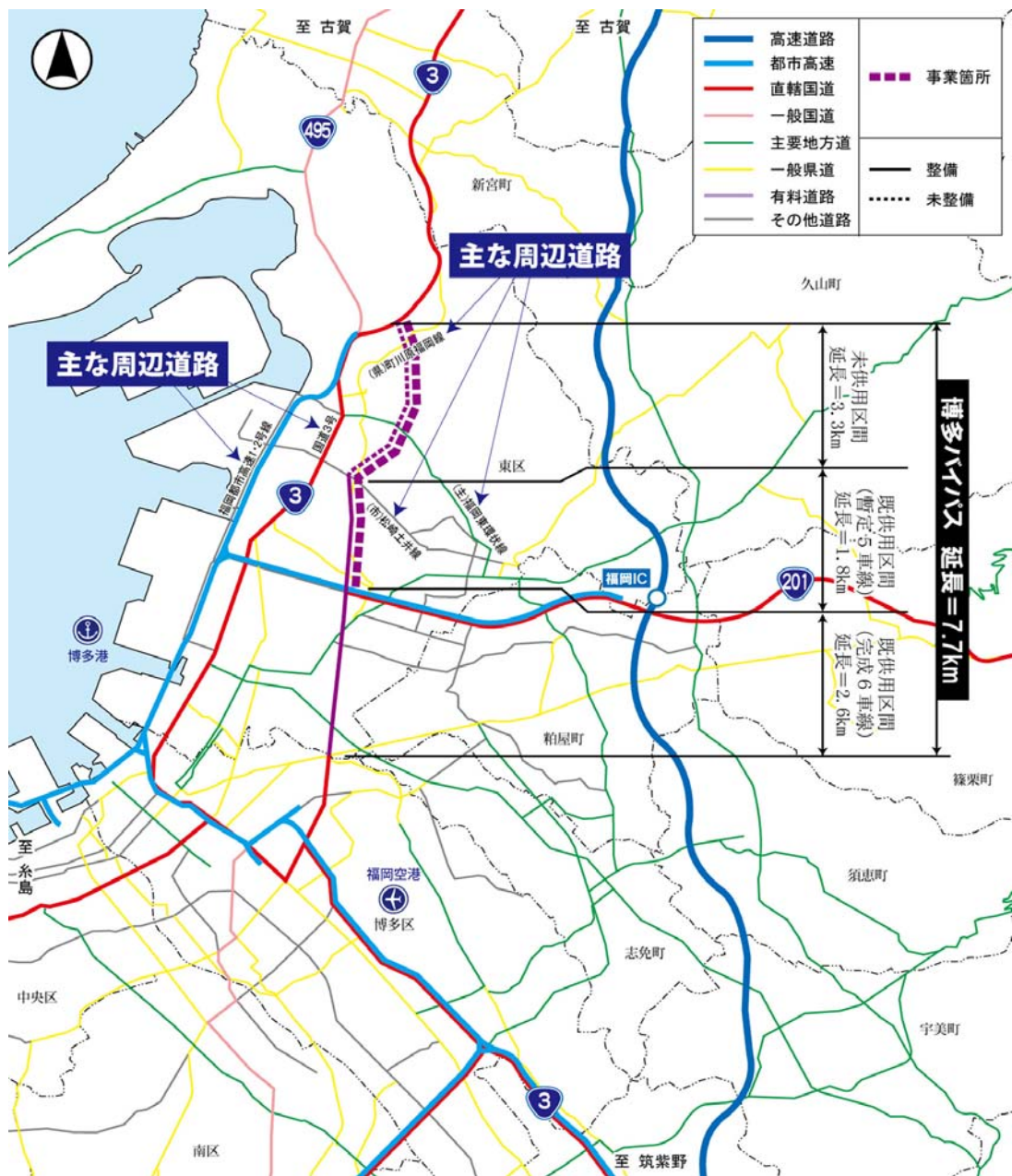
様式-3①

事業名：国道3号 博多バイパス

(推計時点 H42年) (残事業)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 博多バイパス 【未供用区間】 : 3.3km	交通量	[台/日]	0.00	58,200	
	走行時間	[分]	0.00	5.2	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	54	
①新設・改築道路 博多バイパス 【既供用区間】 (暫定5車線) : 1.8km	交通量	[台/日]	53,500	68,300	
	走行時間	[分]	3.0	3.4	
	走行時間費用	[億円/年]	36	42	
①新設・改築道路 博多バイパス 【既供用区間】 (完成6車線) : 2.6km	交通量	[台/日]	76,700	76,200	
	走行時間	[分]	4.4	4.3	
	走行時間費用	[億円/年]	53	59	
②主な周辺道路	現道(国道 3号) : 8.8km	交通量	[台/日]	66,000	55,300
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	189	145
	福岡都市高 速1・2号線 : 13.7km	交通量	[台/日]	46,600	44,100
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	114	108
	(県)町川 原福岡線 : 6.2km	交通量	[台/日]	27,800	15,300
		走行時間	[分]	15	13
		走行時間費用	[億円/年]	83	34
	(主)福岡 東環状線 : 9.2km	交通量	[台/日]	18,100	16,900
		走行時間	[分]	32	31
		走行時間費用	[億円/年]	105	101
	(市)松崎 土井線 : 2.5km	交通量	[台/日]	12,200	10,500
		走行時間	[分]	5.9	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	12	9.5
③その他道路合計: 2,850.0km	走行時間費用	[億円/年]	13,598	13,598	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 2,898.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	14,192	14,151	41

事業名：国道3号 博多バイパス（残事業）



# 費用便益分析の条件

事業名：国道3号 博多バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成23年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>
	複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H17,H42)
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
その他( )	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	( ) %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	( ) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	( ) 日
採用した冬期日数の考え方を記載				
冬期の走行速度と交通容量の関係				
設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：国道3号 博多バイパス

(4)

		項目	チェック欄
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他( )	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間:H19~H21)に基づく	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□	
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 国道3号 博多バイパス(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.27	7.7	2.10	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-11年目	S 43	5.4005	36.0	0.30	4.05		
-10年目	S 44	5.1928	38.1	0.54	6.61		
-9年目	S 45	4.9931	40.7	0.42	4.66		
-8年目	S 46	4.8010	42.6	3.39	34.33		
-7年目	S 47	4.6164	45.5	1.90	17.31		
-6年目	S 48	4.4388	52.4	3.27	24.89		
-5年目	S 49	4.2681	62.5	13.88	85.30		
-4年目	S 50	4.1039	66.1	16.88	94.29		
-3年目	S 51	3.9461	71.7	7.67	37.99		
-2年目	S 52	3.7943	76.0	7.73	34.72		
-1年目	S 53	3.6484	79.2	3.37	13.95		
供用開始年次	S 54	3.5081	81.3	1.53	5.94	0.57	2.22
1年目	S 55	3.3731	86.4	5.18	18.20	0.57	2.01
2年目	S 56	3.2434	88.6	3.82	12.58	0.57	1.88
3年目	S 57	3.1187	89.6	7.48	23.42	0.57	1.79
4年目	S 58	2.9987	90.5	8.56	25.52	0.57	1.70
5年目	S 59	2.8834	92.3	11.97	33.65	0.57	1.61
6年目	S 60	2.7725	93.0	14.53	38.97	0.57	1.53
7年目	S 61	2.6658	94.6	15.78	40.03	0.57	1.45
8年目	S 62	2.5633	94.4	10.98	26.82	0.57	1.40
9年目	S 63	2.4647	94.9	6.83	15.96	0.57	1.34
10年目	H 1	2.3699	97.4	5.33	11.67	0.57	1.25
11年目	H 2	2.2788	99.6	1.69	3.48	0.69	1.41
12年目	H 3	2.1911	102.0	10.81	20.90	0.69	1.33
13年目	H 4	2.1068	103.4	11.59	21.26	0.69	1.26
14年目	H 5	2.0258	103.7	13.88	24.41	0.69	1.21
15年目	H 6	1.9479	103.6	12.13	20.52	0.69	1.16
16年目	H 7	1.8730	103.0	10.73	17.55	0.69	1.12
17年目	H 8	1.8009	102.4	9.84	15.58	0.69	1.09
18年目	H 9	1.7317	103.4	4.63	6.98	0.69	1.03
19年目	H 10	1.6651	102.8	16.89	24.63	0.69	1.00
20年目	H 11	1.6010	101.3	6.93	9.86	0.69	0.98
21年目	H 12	1.5395	99.7	8.62	11.98	0.69	0.95
22年目	H 13	1.4802	98.4	8.55	11.57	0.69	0.93
23年目	H 14	1.4233	96.6	5.94	7.88	0.69	0.91
24年目	H 15	1.3686	95.4	12.17	15.71	0.69	0.89
25年目	H 16	1.3159	94.4	6.22	7.80	1.12	1.41
26年目	H 17	1.2653	93.2	3.07	3.76	1.12	1.37
27年目	H 18	1.2167	92.5	10.91	12.91	1.12	1.33
28年目	H 19	1.1699	91.7	19.27	22.13	1.12	1.29
29年目	H 20	1.1249	91.2	18.09	20.08	1.12	1.25
30年目	H 21	1.0816	90.0	25.48	27.56	1.12	1.22
31年目	H 22	1.0400	90.0	16.61	17.27	1.12	1.17
32年目	H 23	1.0000	90.0	6.77	6.77	1.12	1.12
33年目	H 24	0.9615	90.0	8.59	8.26	1.12	1.08
34年目	H 25	0.9246	90.0	9.54	8.82	1.12	1.04
35年目	H 26	0.8890	90.0	10.51	9.34	1.12	1.00
36年目	H 27	0.8548	90.0	12.24	10.46	1.12	0.96
37年目	H 28	0.8219	90.0	11.00	9.04	1.12	0.92
38年目	H 29	0.7903	90.0	8.49	6.71	1.12	0.89
39年目	H 30	0.7599	90.0			2.00	1.52
40年目	H 31	0.7307	90.0			2.00	1.46
41年目	H 32	0.7026	90.0			2.00	1.41
42年目	H 33	0.6756	90.0			2.00	1.35
43年目	H 34	0.6496	90.0			2.00	1.30
44年目	H 35	0.6246	90.0			2.00	1.25
45年目	H 36	0.6006	90.0			2.00	1.20
46年目	H 37	0.5775	90.0			2.00	1.16
47年目	H 38	0.5553	90.0			2.00	1.11
48年目	H 39	0.5339	90.0			2.00	1.07
49年目	H 40	0.5134	90.0	-161.20	-82.76	2.00	1.03
合計				291.29	911.32	53.62	63.36
単純事業費計				452.49		53.62	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

### 費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 国道3号 博多バイパス(残事業)				単価(億円)		単純単価(億円)	
				0.18		5.1	
				0.92		0.92	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-6年目	H 24	0.9615	90.0	8.59	8.26		
-5年目	H 25	0.9246	90.0	9.54	8.82		
-4年目	H 26	0.8890	90.0	10.51	9.34		
-3年目	H 27	0.8548	90.0	12.24	10.46		
-2年目	H 28	0.8219	90.0	11.00	9.04		
-1年目	H 29	0.7903	90.0	8.49	6.71		
供用年次	H 30	0.7599	90.0			0.88	0.67
1年目	H 31	0.7307	90.0			0.88	0.64
2年目	H 32	0.7026	90.0			0.88	0.62
3年目	H 33	0.6756	90.0			0.88	0.59
4年目	H 34	0.6496	90.0			0.88	0.57
5年目	H 35	0.6246	90.0			0.88	0.55
6年目	H 36	0.6006	90.0			0.88	0.53
7年目	H 37	0.5775	90.0			0.88	0.51
8年目	H 38	0.5553	90.0			0.88	0.49
9年目	H 39	0.5339	90.0			0.88	0.47
10年目	H 40	0.5134	90.0			0.88	0.45
11年目	H 41	0.4936	90.0			0.88	0.43
12年目	H 42	0.4746	90.0			0.88	0.42
13年目	H 43	0.4564	90.0			0.88	0.40
14年目	H 44	0.4388	90.0			0.88	0.38
15年目	H 45	0.4220	90.0			0.88	0.37
16年目	H 46	0.4057	90.0			0.88	0.36
17年目	H 47	0.3901	90.0			0.88	0.34
18年目	H 48	0.3751	90.0			0.88	0.33
19年目	H 49	0.3607	90.0			0.88	0.32
20年目	H 50	0.3468	90.0			0.88	0.30
21年目	H 51	0.3335	90.0			0.88	0.29
22年目	H 52	0.3207	90.0			0.88	0.28
23年目	H 53	0.3083	90.0			0.88	0.27
24年目	H 54	0.2965	90.0			0.88	0.26
25年目	H 55	0.2851	90.0			0.88	0.25
26年目	H 56	0.2741	90.0			0.88	0.24
27年目	H 57	0.2636	90.0			0.88	0.23
28年目	H 58	0.2534	90.0			0.88	0.22
29年目	H 59	0.2437	90.0			0.88	0.21
30年目	H 60	0.2343	90.0			0.88	0.21
31年目	H 61	0.2253	90.0			0.88	0.20
32年目	H 62	0.2166	90.0			0.88	0.19
33年目	H 63	0.2083	90.0			0.88	0.18
34年目	H 64	0.2003	90.0			0.88	0.18
35年目	H 65	0.1926	90.0			0.88	0.17
36年目	H 66	0.1852	90.0			0.88	0.16
37年目	H 67	0.1780	90.0			0.88	0.16
38年目	H 68	0.1712	90.0			0.88	0.15
39年目	H 69	0.1646	90.0			0.88	0.14
40年目	H 70	0.1583	90.0			0.88	0.14
41年目	H 71	0.1522	90.0			0.88	0.13
42年目	H 72	0.1463	90.0			0.88	0.13
43年目	H 73	0.1407	90.0			0.88	0.12
44年目	H 74	0.1353	90.0			0.88	0.12
45年目	H 75	0.1301	90.0			0.88	0.11
46年目	H 76	0.1251	90.0			0.88	0.11
47年目	H 77	0.1203	90.0			0.88	0.11
48年目	H 78	0.1157	90.0			0.88	0.10
49年目	H 79	0.1112	90.0	-3.37	-0.37	0.88	0.10
合計				57.00	52.26	43.81	14.90
単純事業費計				60.37		43.81	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：国道3号 博多バイパス(事業全体)

様式-5

年度 (基準年)	走行台キロの年次別伸び率 (北九州70%)				GDP デフレーター	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)		走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
	乗用車	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	現在価値 (A)×②	現在価値 (A)×②	③×(A)	現在価値 (A)×②	③×(A)
年度	H 23	1.02113	1.00399	1.01859	81.3	3.5081	9.53	7.51	32.35	125.70	9.53	37.04	4.20	16.30	46.08	179.04
1年目	S 54	1.02320	0.99903	0.99903	86.4	3.3731	9.57	7.54	32.83	115.36	9.67	33.97	4.27	15.01	46.77	164.34
2年目	S 55	1.03473	0.99750	1.02139	88.6	3.2434	9.56	7.54	33.18	109.31	9.76	32.16	4.33	14.28	47.28	155.75
3年目	S 57	1.01474	1.01399	1.01448	89.6	3.1187	9.54	7.52	33.69	105.55	9.90	31.02	4.43	13.87	48.02	150.44
4年目	S 58	1.02069	1.00911	1.01664	90.5	2.9987	9.67	7.62	34.18	101.92	10.04	29.95	4.49	13.39	48.71	145.26
5年目	S 59	1.03868	1.01524	1.03055	92.3	2.8834	9.76	7.69	34.69	97.52	10.19	28.64	4.57	12.84	49.44	139.00
6年目	S 60	1.04039	1.03914	1.03985	93.0	2.7725	9.91	7.81	35.62	95.57	10.45	28.05	4.71	12.63	50.78	136.25
7年目	S 61	1.03883	1.03766	1.03833	94.6	2.6638	10.29	8.11	37.03	93.93	10.87	27.57	4.89	12.41	52.80	133.91
8年目	S 62	1.03738	1.03629	1.03629	94.4	2.5633	10.68	8.42	38.45	93.97	11.28	27.58	5.08	12.42	54.82	133.97
9年目	S 63	1.03603	1.03502	1.03560	94.9	2.4647	11.07	8.73	39.87	93.19	11.70	27.35	5.27	12.32	56.84	132.86
10年目	H 1	1.03478	1.03384	1.03437	97.4	2.3699	11.46	9.03	41.28	90.41	12.11	26.53	5.46	11.95	58.85	128.89
11年目	H 2	1.05111	1.00991	1.03344	99.6	2.2788	12.12	9.35	43.11	87.52	12.53	25.82	5.68	11.73	61.49	124.21
12年目	H 3	1.04862	1.00981	1.03235	102.0	2.1911	15.99	14.51	60.08	116.09	13.08	24.56	5.92	11.51	64.51	119.49
13年目	H 4	1.04637	1.00972	1.03134	103.4	2.1068	16.15	14.65	61.78	113.30	13.58	23.82	6.17	11.33	67.73	114.81
14年目	H 5	1.04431	1.00963	1.03039	103.7	2.0258	16.30	14.79	63.52	111.68	14.09	23.10	6.40	11.16	70.93	110.15
15年目	H 6	1.05009	0.98489	1.02444	103.6	1.9479	16.46	14.93	65.26	110.43	14.60	22.36	6.63	10.95	74.29	105.49
16年目	H 7	1.04770	0.98465	1.02386	103.0	1.8730	16.21	14.71	66.48	108.80	15.13	21.63	6.87	10.74	77.65	100.81
17年目	H 8	1.04553	0.98441	1.02330	102.4	1.8009	15.96	14.48	67.70	107.16	15.66	20.90	7.11	10.53	80.97	96.14
18年目	H 9	1.04355	0.98417	1.02277	101.8	1.7317	15.71	14.26	68.92	105.89	16.17	19.98	7.42	10.32	84.57	91.53
19年目	H 10	1.04173	0.98391	1.02227	101.3	1.6651	15.46	14.03	70.14	102.26	16.68	18.84	7.73	10.13	88.30	86.82
20年目	H 11	1.01320	0.98391	1.00533	101.3	1.6010	15.22	13.80	71.37	101.51	17.19	17.62	8.04	9.94	92.15	82.16
21年目	H 12	1.01303	0.98379	1.00530	99.7	1.5395	15.05	13.65	71.60	99.51	17.72	16.88	8.35	9.75	95.46	77.91
22年目	H 13	1.01286	0.98366	1.00527	98.4	1.4802	14.88	13.50	71.84	97.26	18.27	16.15	8.66	9.56	98.82	73.16
23年目	H 14	1.01270	0.98353	1.00524	96.6	1.4233	14.71	13.35	72.08	95.58	18.85	15.36	8.97	9.37	101.95	68.41
24年目	H 15	1.01254	0.98340	1.00522	95.4	1.3666	14.54	13.19	72.32	93.37	19.43	14.54	9.28	9.18	105.65	63.26
25年目	H 16	1.01238	0.98326	1.00519	94.4	1.3159	14.37	13.03	72.56	91.73	19.99	13.81	9.59	9.00	109.44	58.11
26年目	H 17	0.99764	0.98262	1.00516	92.5	1.2653	14.21	12.88	72.79	90.18	20.57	13.04	9.91	8.82	113.35	52.96
27年目	H 18	0.99763	0.99220	1.00513	92.5	1.2167	14.05	12.73	73.01	88.63	21.15	12.20	10.21	8.63	117.26	47.81
28年目	H 19	0.99762	0.99218	1.00510	91.2	1.1699	13.89	12.58	73.22	87.06	21.73	11.35	10.52	8.44	121.19	42.66
29年目	H 20	0.99762	0.99216	1.00508	90.0	1.1249	13.73	12.43	73.43	85.99	22.30	10.50	10.79	8.25	125.14	37.51
30年目	H 21	0.99761	0.99215	1.00507	90.0	1.0816	13.58	12.28	73.63	84.92	22.84	9.54	11.01	8.06	129.11	32.36
31年目	H 22	0.99761	0.99215	1.00507	90.0	1.0400	13.43	12.13	73.82	83.86	23.36	8.59	11.22	7.87	133.08	27.21
32年目	H 23	0.99760	0.99215	1.00506	90.0	1.0000	13.28	12.00	74.00	82.80	23.84	7.64	11.44	7.64	137.04	22.06
33年目	H 24	0.99760	0.99215	1.00506	90.0	0.9615	13.13	11.85	74.19	81.81	24.31	6.69	11.65	7.45	140.99	16.91
34年目	H 25	0.99759	0.99215	1.00506	90.0	0.9248	12.98	11.68	74.36	80.82	24.76	5.74	11.85	7.26	144.94	11.76
35年目	H 26	0.99758	0.99215	1.00506	90.0	0.8900	12.83	11.52	74.58	79.83	25.19	4.80	12.03	7.07	148.91	6.61
36年目	H 27	0.99758	0.99215	1.00506	90.0	0.8568	12.68	11.37	74.76	78.84	25.59	3.85	12.21	6.88	152.88	1.46
37年目	H 28	0.99757	0.99215	1.00506	90.0	0.8249	12.53	11.22	74.94	77.85	25.96	2.90	12.36	6.71	156.83	0.41
38年目	H 29	0.99757	0.99215	1.00506	90.0	0.7933	12.38	11.07	75.12	76.86	26.31	1.95	12.51	6.55	160.76	0.46
39年目	H 30	0.99756	0.99215	1.00506	90.0	0.7620	12.23	10.92	75.29	75.88	26.64	1.00	12.65	6.38	164.67	0.51
40年目	H 31	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.7311	12.08	10.77	75.46	74.91	26.96	0.05	12.78	6.21	168.58	0.56
41年目	H 32	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.7006	11.93	10.62	75.62	73.96	27.27	0.00	12.88	6.04	172.49	0.61
42年目	H 33	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.6704	11.78	10.47	75.78	73.01	27.57	0.00	12.97	5.87	176.40	0.66
43年目	H 34	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.6404	11.63	10.32	75.93	72.06	27.86	0.00	13.05	5.70	180.31	0.71
44年目	H 35	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.6106	11.48	10.17	76.07	71.11	28.14	0.00	13.13	5.53	184.22	0.76
45年目	H 36	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.5810	11.33	10.02	76.21	70.16	28.41	0.00	13.20	5.36	188.13	0.81
46年目	H 37	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.5516	11.18	9.87	76.34	69.21	28.67	0.00	13.27	5.19	192.04	0.86
47年目	H 38	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.5223	11.03	9.72	76.46	68.26	28.92	0.00	13.33	5.02	195.95	0.91
48年目	H 39	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.4931	10.88	9.57	76.57	67.31	29.17	0.00	13.39	4.85	199.86	0.96
49年目	H 40	0.99755	0.99215	1.00506	90.0	0.4640	10.73	9.42	76.67	66.36	29.41	0.00	13.44	4.68	203.77	1.01
合計					2,486.66	770.04	717.06	3,973.76	4,736.69	264.44	101.78	148.35	737.45	218.19	4,593.05	5,692.53

便益の現在価値算定表

箇所名: 国道3号 博多ハイパス(雑事業)

年度 (標準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州7ロード)				GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				現在価値		合 計 (億円)				
	乗用車	小型貨物	普通貨物	全車		乗用車	小型貨物	普通貨物	①計	①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	②計	(A)×(2)		現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%	
1年目	H 30	0.99756	0.99140	0.99657	0.99636	90.0	32.50	5.53	4.12	42.15	32.03	1.67	0.11	0.15	1.93	1.47	0.54	0.41	44.62	33.91
2年目	H 31	0.99755	0.99133	0.99656	0.99634	90.0	32.42	5.48	4.10	42.01	30.70	1.66	0.11	0.15	1.93	1.41	0.54	0.39	44.48	32.50
3年目	H 32	0.99811	0.99165	0.99922	0.99708	90.0	32.34	5.44	4.09	41.87	29.42	1.66	0.11	0.15	1.92	1.35	0.53	0.37	44.33	31.14
4年目	H 33	0.99810	0.99158	0.99922	0.99707	90.0	32.28	5.39	4.09	41.76	28.21	1.66	0.11	0.15	1.92	1.30	0.53	0.36	44.21	29.87
5年目	H 34	0.99810	0.99151	0.99922	0.99706	90.0	32.22	5.35	4.08	41.65	27.06	1.65	0.11	0.15	1.91	1.24	0.53	0.34	44.10	28.64
6年目	H 35	0.99810	0.99144	0.99922	0.99705	90.0	32.16	5.30	4.08	41.54	25.95	1.65	0.11	0.15	1.91	1.19	0.53	0.33	43.98	27.47
7年目	H 36	0.99809	0.99136	0.99922	0.99704	90.0	32.10	5.25	4.08	41.43	24.88	1.65	0.11	0.15	1.91	1.14	0.53	0.32	43.86	26.34
8年目	H 37	0.99809	0.99129	0.99921	0.99704	90.0	32.04	5.21	4.07	41.32	23.86	1.64	0.11	0.15	1.90	1.10	0.53	0.30	43.75	25.26
9年目	H 38	0.99809	0.99121	0.99921	0.99703	90.0	31.98	5.16	4.07	41.21	22.88	1.64	0.11	0.15	1.90	1.05	0.52	0.29	43.63	24.22
10年目	H 39	0.99808	0.99113	0.99921	0.99702	90.0	31.91	5.12	4.07	41.10	21.94	1.64	0.10	0.15	1.89	1.01	0.52	0.28	43.52	23.23
11年目	H 40	0.99808	0.99105	0.99921	0.99701	90.0	31.85	5.07	4.07	40.99	21.05	1.63	0.10	0.15	1.89	0.97	0.52	0.27	43.40	22.29
12年目	H 41	0.99808	0.99097	0.99921	0.99700	90.0	31.79	5.03	4.06	40.88	20.18	1.63	0.10	0.15	1.89	0.93	0.52	0.26	43.29	21.37
13年目	H 42	0.99338	0.99366	1.00074	0.99419	90.0	31.73	4.98	4.06	40.77	19.35	1.63	0.10	0.15	1.88	0.89	0.52	0.25	43.17	20.49
14年目	H 43	0.99329	0.99352	1.00074	0.99412	90.0	31.52	4.95	4.06	40.53	18.50	1.62	0.10	0.15	1.87	0.85	0.51	0.24	42.92	19.59
15年目	H 44	0.99324	0.99348	1.00074	0.99409	90.0	31.31	4.92	4.06	40.29	17.68	1.61	0.10	0.15	1.86	0.82	0.51	0.22	42.66	18.72
16年目	H 45	0.99320	0.99343	1.00074	0.99406	90.0	30.89	4.85	4.07	40.06	16.90	1.60	0.10	0.15	1.85	0.78	0.51	0.21	42.41	17.89
17年目	H 46	0.99315	0.99339	1.00074	0.99402	90.0	30.68	4.82	4.07	39.82	16.15	1.58	0.10	0.15	1.84	0.74	0.51	0.21	42.16	17.10
18年目	H 47	0.99310	0.99335	1.00074	0.99398	90.0	30.47	4.79	4.08	39.58	15.44	1.57	0.10	0.15	1.82	0.71	0.50	0.20	41.90	16.33
19年目	H 48	0.99305	0.99330	1.00074	0.99395	90.0	30.26	4.76	4.08	39.30	14.76	1.56	0.10	0.15	1.81	0.68	0.50	0.19	41.65	15.63
20年目	H 49	0.99301	0.99326	1.00074	0.99391	90.0	30.05	4.73	4.08	38.86	14.10	1.55	0.10	0.15	1.80	0.65	0.50	0.18	41.40	14.93
21年目	H 50	0.99296	0.99321	1.00074	0.99387	90.0	29.84	4.70	4.09	38.62	13.48	1.54	0.10	0.15	1.79	0.62	0.49	0.17	41.14	14.27
22年目	H 51	0.99291	0.99316	1.00074	0.99384	90.0	29.63	4.66	4.09	38.38	12.88	1.53	0.10	0.15	1.78	0.59	0.49	0.16	40.89	13.63
23年目	H 52	0.99286	0.99311	1.00074	0.99380	90.0	29.42	4.63	4.09	38.14	12.31	1.52	0.10	0.15	1.77	0.57	0.49	0.16	40.64	13.04
24年目	H 53	0.99280	0.99307	1.00074	0.99376	90.0	29.21	4.60	4.09	37.90	11.76	1.51	0.09	0.15	1.76	0.54	0.48	0.15	40.38	12.45
25年目	H 54	0.99275	0.99302	1.00074	0.99372	90.0	29.00	4.57	4.10	37.67	11.24	1.50	0.09	0.15	1.75	0.52	0.48	0.14	40.13	11.90
26年目	H 55	0.99270	0.99297	1.00074	0.99368	90.0	28.79	4.54	4.10	37.43	10.74	1.49	0.09	0.15	1.73	0.49	0.48	0.14	39.88	11.37
27年目	H 56	0.99265	0.99292	1.00074	0.99364	90.0	28.58	4.50	4.10	37.19	10.26	1.48	0.09	0.15	1.72	0.47	0.48	0.13	39.62	10.86
28年目	H 57	0.99259	0.99287	1.00073	0.99360	90.0	28.37	4.47	4.11	36.95	9.80	1.47	0.09	0.15	1.71	0.45	0.47	0.12	39.37	10.37
29年目	H 58	0.99254	0.99282	1.00073	0.99356	90.0	28.16	4.44	4.11	36.71	9.36	1.46	0.09	0.15	1.70	0.43	0.47	0.11	39.12	9.91
30年目	H 59	0.99248	0.99277	1.00073	0.99352	90.0	27.95	4.41	4.11	36.47	8.95	1.44	0.09	0.15	1.69	0.41	0.47	0.11	38.86	9.47
31年目	H 60	0.99242	0.99272	1.00073	0.99347	90.0	27.74	4.38	4.12	36.23	8.54	1.43	0.09	0.15	1.68	0.39	0.46	0.11	38.61	9.04
32年目	H 61	0.99236	0.99266	1.00073	0.99343	90.0	27.53	4.34	4.12	36.00	8.16	1.42	0.09	0.15	1.67	0.38	0.46	0.10	38.36	8.64
33年目	H 62	0.99231	0.99261	1.00073	0.99339	90.0	27.32	4.31	4.12	35.75	7.80	1.41	0.09	0.15	1.65	0.36	0.46	0.10	38.10	8.26
34年目	H 63	0.99225	0.99255	1.00073	0.99334	90.0	27.11	4.28	4.13	35.51	7.45	1.40	0.09	0.15	1.64	0.34	0.45	0.09	37.85	7.88
35年目	H 64	0.99219	0.99250	1.00073	0.99330	90.0	26.90	4.25	4.13	35.27	7.11	1.39	0.09	0.15	1.63	0.33	0.45	0.09	37.60	7.53
36年目	H 65	0.99212	0.99244	1.00073	0.99325	90.0	26.69	4.22	4.13	35.04	6.79	1.38	0.09	0.15	1.62	0.31	0.45	0.09	37.34	7.19
37年目	H 66	0.99206	0.99238	1.00073	0.99321	90.0	26.48	4.19	4.13	34.80	6.49	1.37	0.09	0.15	1.61	0.30	0.45	0.08	37.09	6.87
38年目	H 67	0.99200	0.99232	1.00073	0.99316	90.0	26.27	4.15	4.14	34.56	6.19	1.36	0.09	0.15	1.60	0.28	0.44	0.08	36.84	6.55
39年目	H 68	0.99193	0.99227	1.00073	0.99312	90.0	26.06	4.12	4.14	34.32	5.92	1.35	0.08	0.15	1.59	0.27	0.44	0.08	36.58	6.27
40年目	H 69	0.99187	0.99220	1.00073	0.99307	90.0	25.85	4.09	4.14	34.08	5.65	1.34	0.08	0.16	1.58	0.26	0.44	0.07	36.33	5.98
41年目	H 70	0.99180	0.99214	1.00073	0.99302	90.0	25.64	4.06	4.15	33.84	5.39	1.33	0.08	0.16	1.56	0.25	0.43	0.07	36.08	5.71
42年目	H 71	0.99173	0.99208	1.00073	0.99297	90.0	25.43	4.03	4.15	33.60	5.15	1.31	0.08	0.16	1.55	0.24	0.43	0.07	35.82	5.46
43年目	H 72	0.99166	0.99202	1.00073	0.99292	90.0	25.22	3.99	4.15	33.36	4.92	1.30	0.08	0.16	1.54	0.23	0.43	0.06	35.57	5.21
44年目	H 73	0.99159	0.99195	1.00073	0.99287	90.0	25.01	3.96	4.16	33.12	4.69	1.29	0.08	0.16	1.53	0.22	0.42	0.06	35.32	4.97
45年目	H 74	0.99152	0.99189	1.00073	0.99282	90.0	24.80	3.93	4.16	32.88	4.48	1.28	0.08	0.16	1.52	0.21	0.42	0.06	35.06	4.75
46年目	H 75	0.99145	0.99182	1.00073	0.99277	90.0	24.59	3.90	4.16	32.64	4.28	1.27	0.08	0.16	1.51	0.20	0.42	0.05	34.81	4.53
47年目	H 76	0.99138	0.99175	1.00072	0.99271	90.0	24.37	3.87	4.16	32.41	4.08	1.26	0.08	0.16	1.50	0.19	0.42	0.05	34.56	4.32
48年目	H 77	0.99130	0.99169	1.00072	0.99266	90.0	24.16	3.83	4.17	32.17	3.90	1.25	0.08	0.16	1.49	0.18	0.41	0.05	34.30	4.13
49年目	H 78	0.99123	0.99162	1.00072	0.99261	90.0	23.95	3.80	4.17	31.93	3.72	1.24	0.08	0.16	1.47	0.17	0.41	0.05	34.05	3.94
合計							1,443.64	230.26	205.34	1,879.23	666.08	74.05	4.70	7.69	86.44	30.64	23.91	8.48	1,989.58	705.20

# 全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道3号	博多バイパス	6	7.7km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				18,079	
	改良費				9,528	
		土工	m <sup>3</sup>	1,426,930	5,538	切土(899,000m <sup>3</sup> )、盛土(428,000m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	625	4	補強土壁基礎改良
		法面工	m <sup>2</sup>	80,527	527	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	2,675	重力式擁壁、ブロック積擁壁、補強土壁等
		管渠工	m	621	99	
		函渠工	m	627	116	
		排水工	m	19,142	271	
		中央分離帯工	m	6,553	78	
		雑工	式	1	221	付替市道、植樹帯等
	橋梁費				3,948	
		100m以上	m	729	2,000	PC橋 3橋
		100m未満	m	368	1,948	PC橋 6橋、鋼橋 1橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				2,633	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	158,556	2,499	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	57,965	134	
	付帯施設費				1,970	
		交通管理施設工	式	1	1,570	
		遮音壁	m	2,000	400	
②	用地及補償費				23,266	
	用地費		m <sup>2</sup>	272,599	16,120	
		宅地	m <sup>2</sup>	165,086	13,655	
		田畑	m <sup>2</sup>	107,513	2,465	
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	7,146	
③	間接経費		式	1	4,855	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
	全体事業費				46,200	

### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

## 残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道3号	博多バイパス	6	5.1km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					4,614	
改良費					1,741	
	土工		m <sup>3</sup>	426,930	591	切土(267,000m <sup>3</sup> )、盛土(126,000m <sup>3</sup> )
	軟弱地盤改良工		m <sup>3</sup>	625	4	補強土壁基礎改良
	法面工		m <sup>2</sup>	30,527	127	切土法面、盛土法面
	擁壁工		式	1	675	重力式擁壁、ブロック積擁壁、補強土壁等
	管渠工		m	196	9	
	函渠工		m	284	86	
	排水工		m	11,073	191	
	中央分離帯工		m	2,600	38	
	雑工		式	1	21	付替市道、植樹帯等
橋梁費					1,389	
	100m以上		m			
	100m未満		m	228	1,389	PC橋 2橋、鋼橋 1橋
トンネル費						
	NATM		m			
	シールド		m			
IC・JCT費						
	IC		箇所			
	JCT		箇所			
舗装費					981	
	車道舗装		m <sup>2</sup>	64,525	927	
	歩道舗装		m <sup>2</sup>	19,169	54	
付帯施設費					503	
	交通管理施設工		式	1	292	
	遮音壁		m	1,300	211	
②用地及補償費					851	
用地費					337	
	宅地		m <sup>2</sup>	5,500	337	
	田畑		m <sup>2</sup>			
	山林・原野		m <sup>2</sup>			
	その他		m <sup>2</sup>			
補償費					514	
③間接経費					857	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					6,322	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

## 全事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道3号	博多バイパス	6	7.7km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.7	721	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,909	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			5,630	

#### 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

## 残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道3号	博多バイパス	6	5.1km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.1	550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,050	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,600	

#### 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。